

熊本商工会議所 平成 26 年度調査事業

2015 年経済予測アンケート 結果報告書

KEY WORD

- ★景気の現状 … 「やや悪化」が 36.0%でトップ
「やや好転」は 20.5%で対前年比 - 14.9%と大幅減少
- ★景気の回復予測 … 「わからない」が 57.6%でトップ
先行きの不透明感が顕著に現れる
- ★産業別動向 … 【全業種】 「変わらない」が 35.0%でトップ
「やや好転」 - 【製造業】【建設業】
「変わらない」 - 【運輸・通信業】【飲食業】【金融・保険業】【サービス業】
「やや悪化」 - 【卸売・小売業】
- ★円市場予測 … 「やや円安」が 44.4%でトップ、5割が円安と予測
- ★株式市場予測 … 「やや株高傾向」が 33.0%でトップ
「やや株安傾向」は 21.2%で対前年比 + 12.9%と大幅増加
- ★経営上の問題点 … 「原材料価格の上昇」が 48.5%でトップ
次いで「需要の停滞」が 44.1%
- ★経営上の重視点 … 依然として「売上高」「収益」重視の傾向が続く

熊本商工会議所

2014 年 12 月

<本調査のお問い合わせ>

熊本商工会議所 会員サービス部 情報調査課
TEL354-6688 FAX354-8890

熊本商工会議所
2015 年経済予測アンケート

I N D E X

1. 調査概要	1
2. 景気	2
3. 産業別予測	4
4. 円市場	12
5. 株式市場	14
6. 金利	16
7. 経営の問題点	17
8. 経営の重視度	18

※ 巻末…「2015 年経済予測アンケート」調査用紙

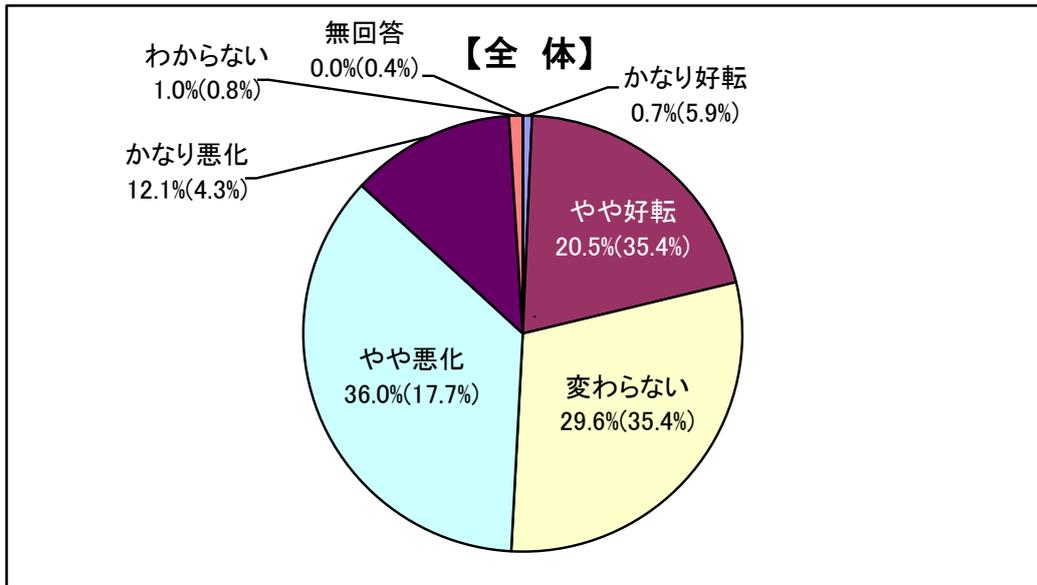
調査概要

1. 調査期間 平成 26 年 11 月 14 日(金)～11 月 24 日(月)
2. 対象者 熊本商工会議所 役員並びに議員 99 企業・1 団体 100 名
熊本商工会議所 経営動向調査モニター企業 384 企業 384 名
(経営動向調査モニター企業は、小規模企業であるため報告書に
おいては小規模企業と標記する)
3. 配布数 484 名(483 企業・1 団体)
4. 調査方法 調査用紙配布:メール便送付 調査票回収:FAX
5. 回答者数 297 名(有効回答率 61.3%)
6. 調査機関 熊本商工会議所

2014年11月 景気の現状

※ グラフの()内は、前年数値

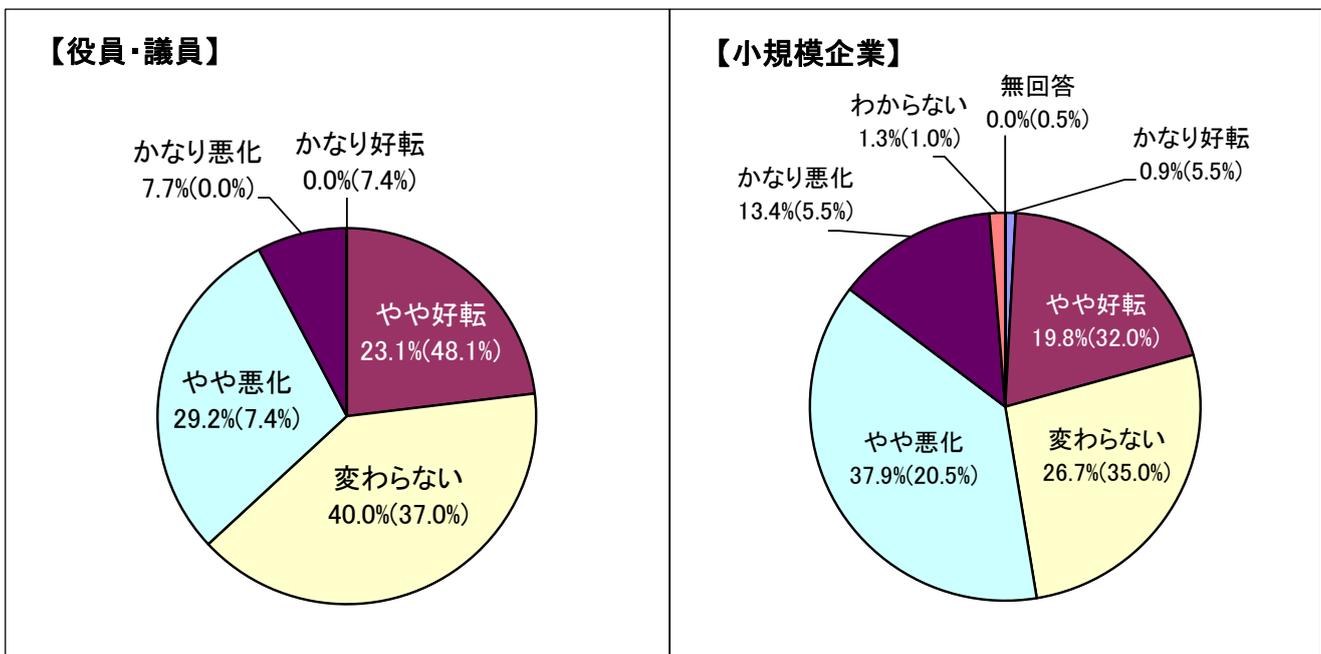
「やや悪化」が36.0%でトップ、次いで「変わらない」で29.6%



景気の現状(2014年11月)については、「やや悪化」が36.0%でトップ。次いで「変わらない」で29.6%となった。前年に比べ「やや好転」が-14.9%と大幅減少、「やや悪化」が+18.3%と大幅な増加となった。

2014年11月 規模別の景気の現状

【役員・議員】は「変わらない」がトップ、【小規模企業】は「やや悪化」がトップ

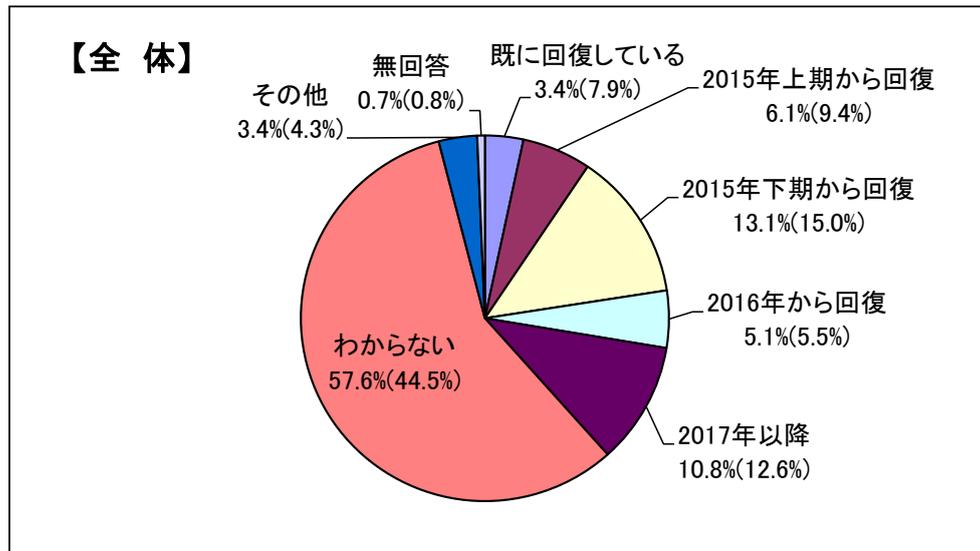


「やや悪化」の割合は【役員・議員】が29.2%(対前年比+21.8%)、【小規模企業】が37.9%(+17.4%)と、ともに大幅な増加となった。【小規模企業】においては「(かなり+やや)悪化」が51.3%と、半数を超える結果となった。

2015年 景気の回復時期

※ グラフの()内は、前年数値

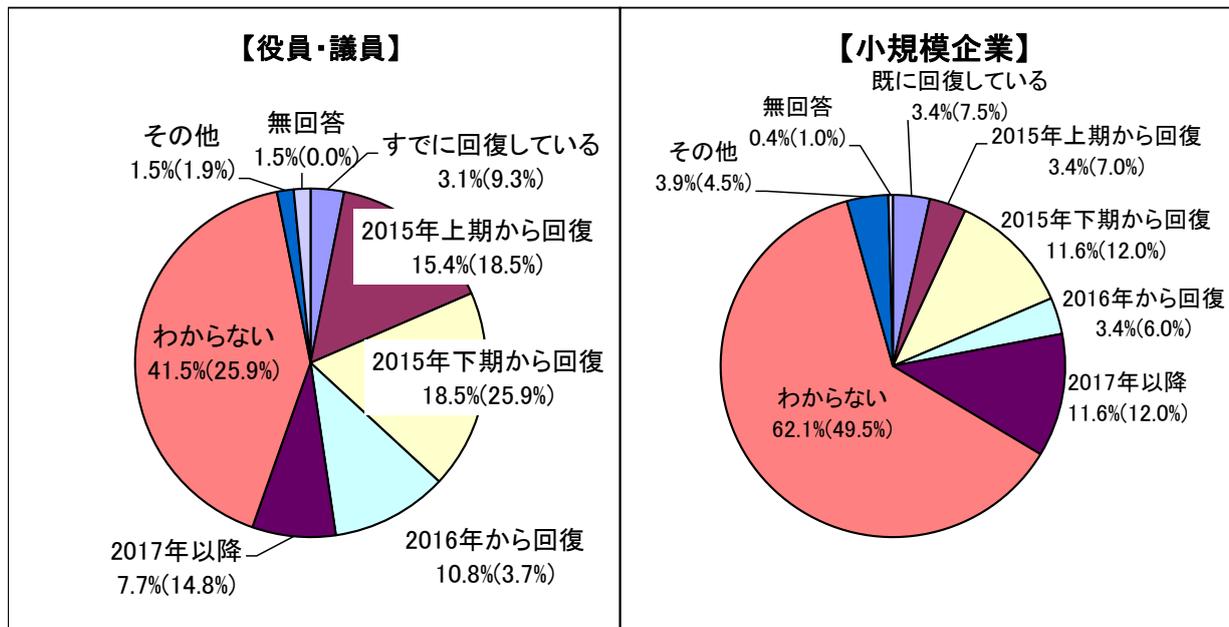
「わからない」が半数以上、先行きの不透明感が顕著に現れる



「わからない」が57.6%でトップ、次いで「来年(2015年)下期から回復」が13.1%となった。「わからない」は対前年比+13.1%と、大幅な増加となった。

2015年 規模別の景気の回復時期

【役員・議員】、【小規模企業】ともに「わからない」がトップ

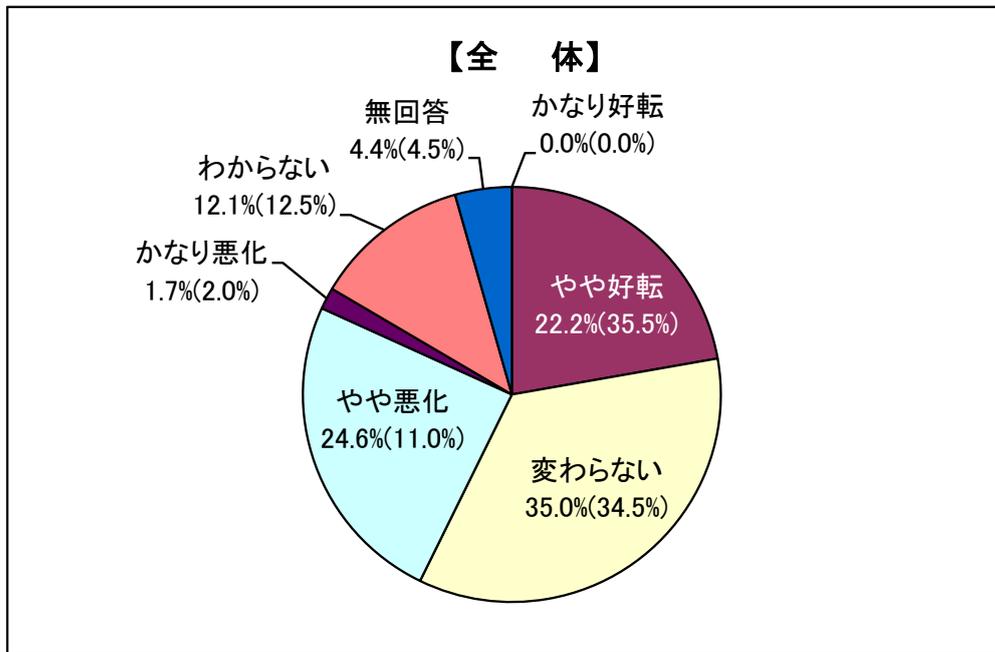


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「既に回復している」と回答した割合は3%台となっており、「わからない」はそれぞれ対前年比+15.6%、+12.6%と大幅な増加となった。

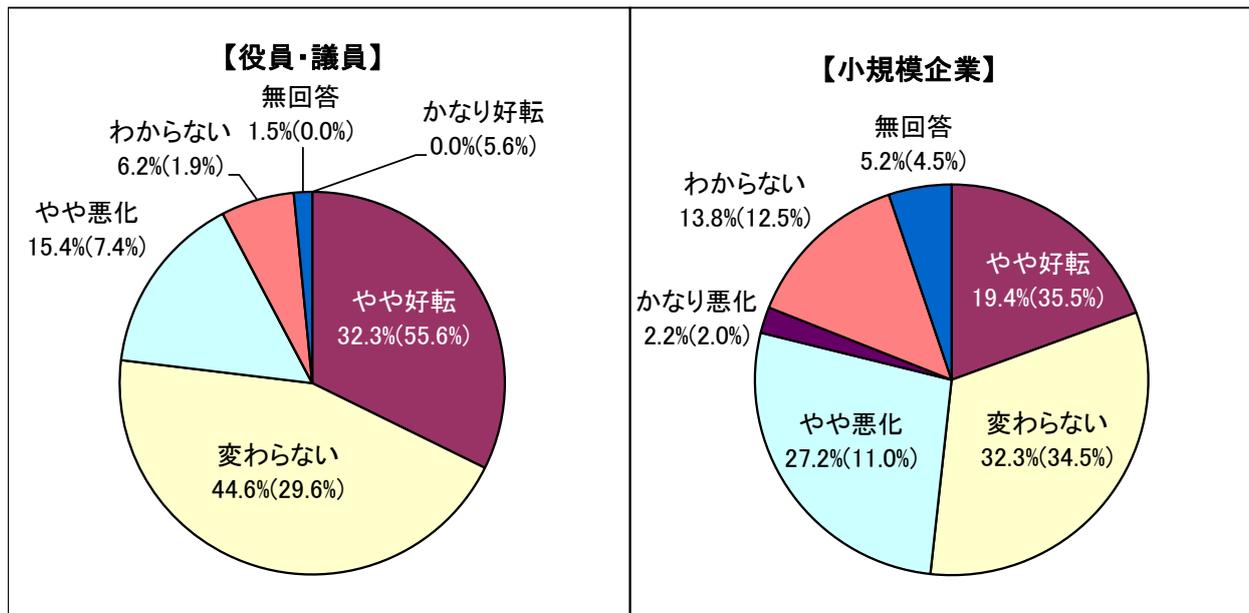
2015年 産業別動向

※ グラフの()内は、前年数値

全 業 種



来年の全業種の動向については、「変わらない」が対前年比+0.5%の35.0%でトップ。次いで、「やや悪化」が対前年比+13.6%の24.6%で2位。3位は「やや好転」で対前年比-13.3%の22.2%であった。

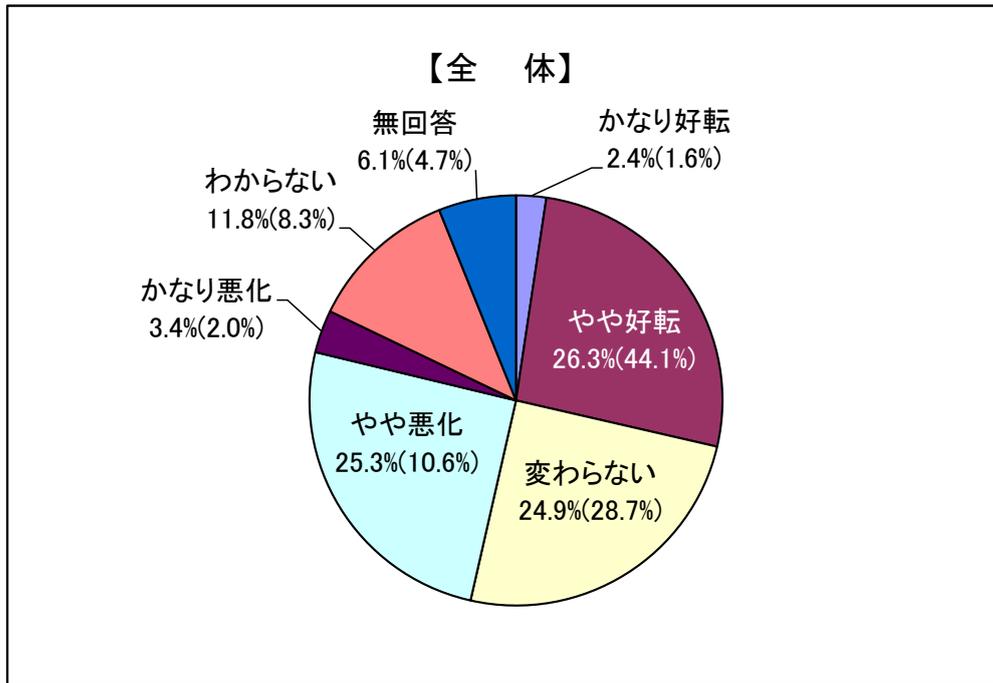


【役員・議員】では、「やや悪化」が15.4%で「やや好転」の32.3%を大きく下回っている。一方【小規模企業】では、「やや悪化」が27.2%で「やや好転」の19.4%を上回る結果となった。

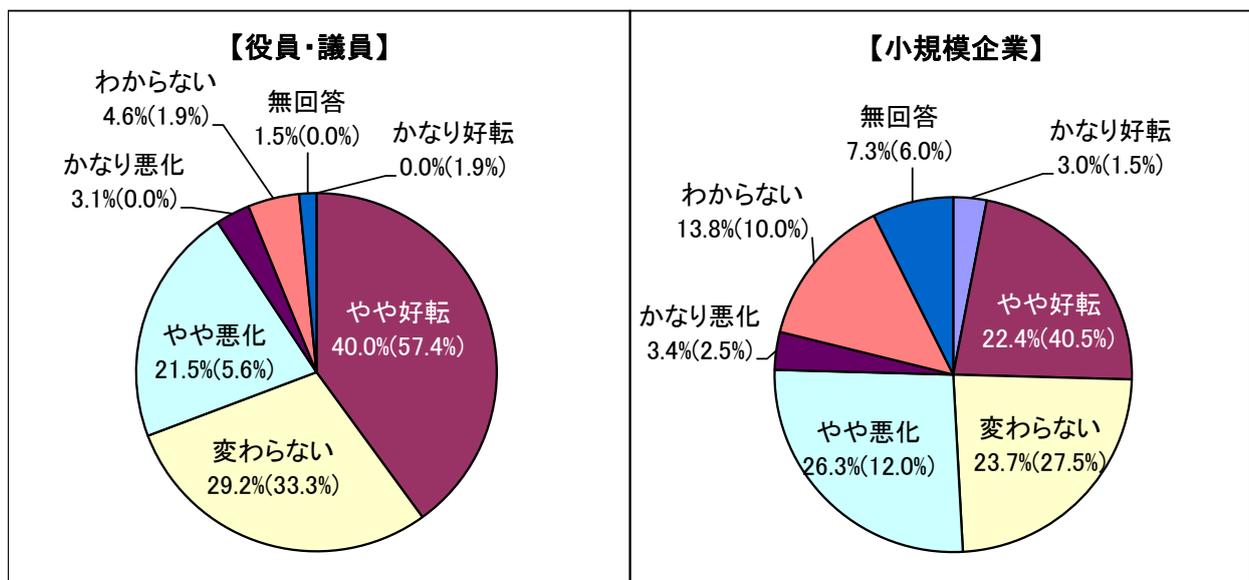
2015年 産業別動向

※ グラフの()内は、前年数値

製造業



来年の製造業の動向については、「やや好転」が26.3%でトップ。次いで「やや悪化」25.3%、「変わらない」24.9%と、上位3つはほぼ同割合となった。
前年と比較すると、「やや好転」-17.8%、「やや悪化」+14.7%と悪化傾向を示す結果となった。

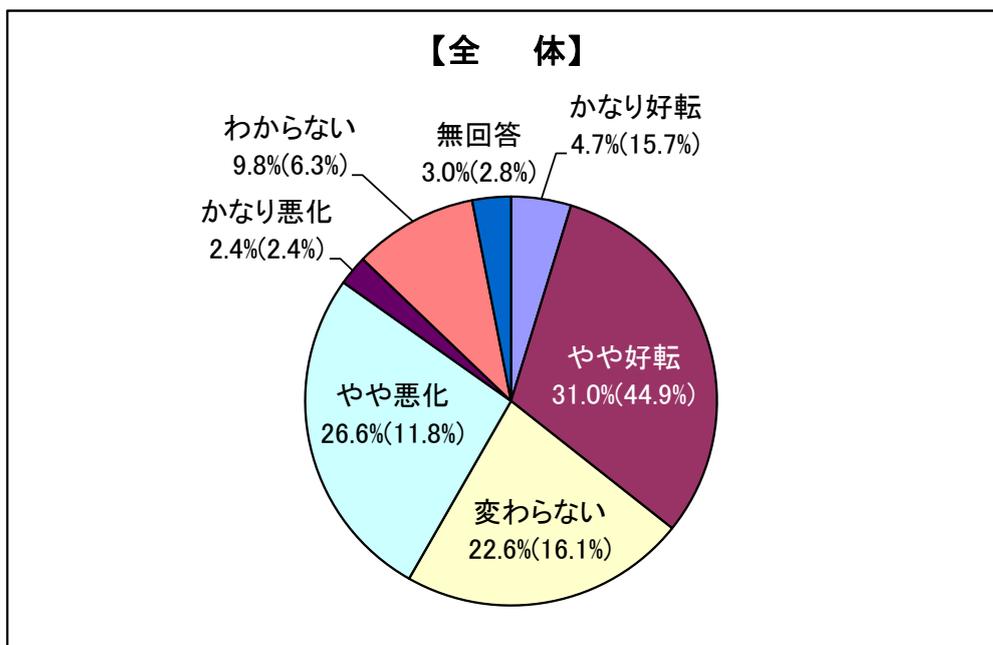


【役員・議員】は「やや好転」が40.0%、【小規模企業】は「やや悪化」が26.3%でトップとなった。【役員・議員】、【小規模企業】ともに「やや好転」が大幅減少(対前年比-17.4%、-18.1%)し、「やや悪化」が大幅増加(対前年比+15.9%、+14.3%)する結果となった。

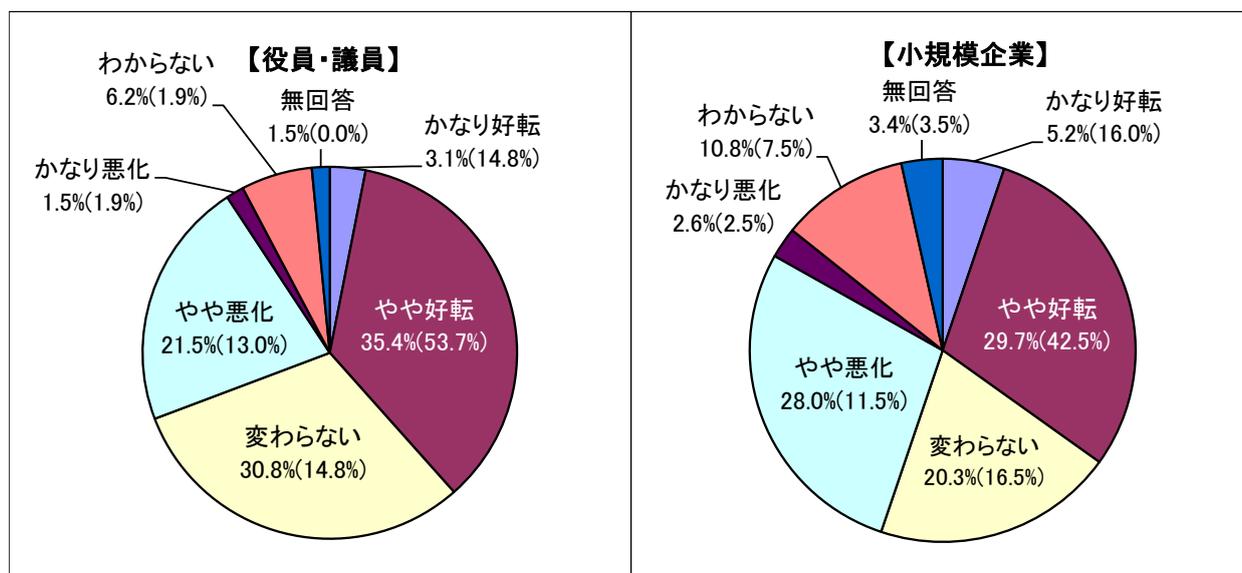
2015年 産業別動向

※ グラフの()内は、前年数値

建設業



来年の建設業の動向については、「やや好転」が31.0%(対前年比-13.9%)でトップ、次いで「やや悪化」が26.6%(対前年比+14.8%)、「変わらない」が22.6%(対前年比+6.5%)となった。
 「(かなり+やや)好転」の割合は35.7%で、前年と比較すると-24.9%と大幅な減少となっているものの、「(かなり+やや)悪化」の29.0%を上回る結果となった。

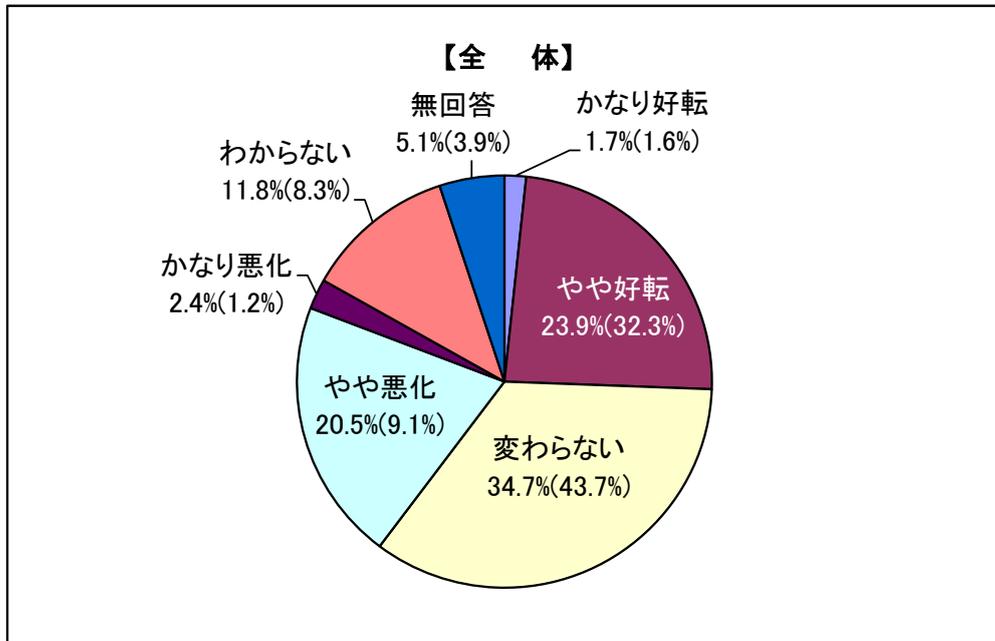


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「やや好転」が大幅減少。かわりに【役員・議員】では「変わらない」、【小規模企業】では「やや悪化」が大幅に増加した。

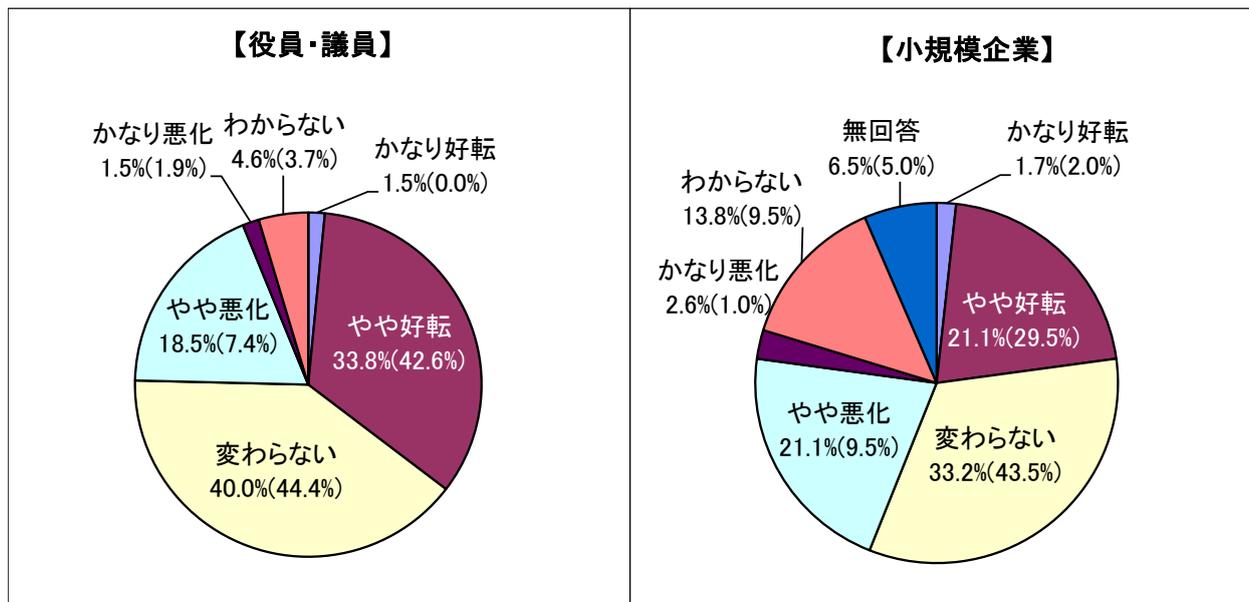
2015年 産業別動向

※ グラフの()内は、前年数値

運輸・通信業



来年の運輸・通信業の動向については、「変わらない」が34.7%(対前年比-9.0%)で前年に引き続きトップとなり、「やや好転」が23.9%(対前年比-8.4%)、「やや悪化」が20.5%(対前年比+11.4%)となった。「好転」と「変わらない」が減少し、「悪化」が増加しており、やや悪化傾向との見方を示す結果となった。

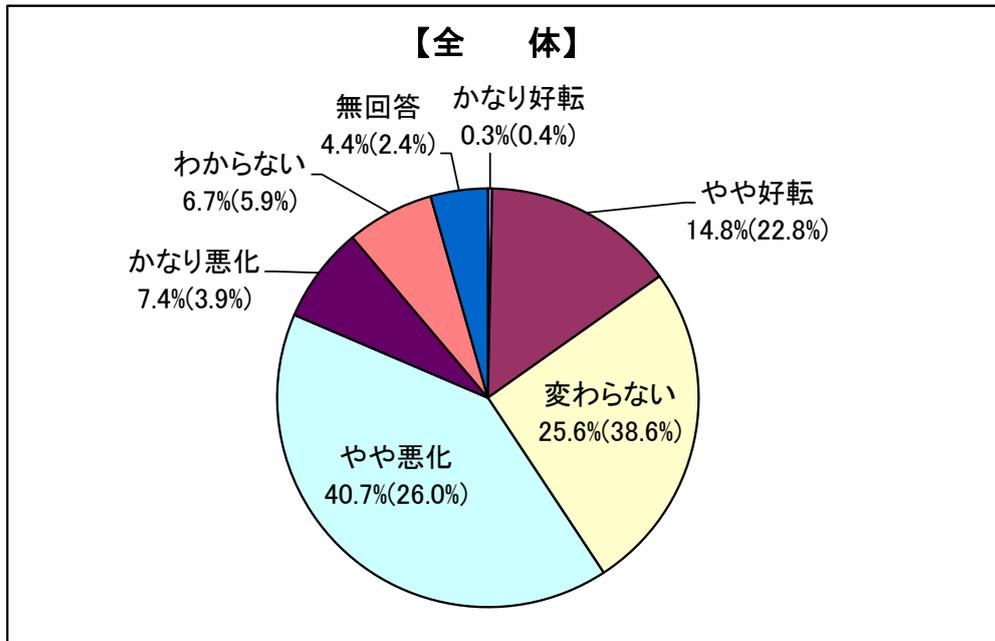


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「変わらない」がそれぞれ40.0%(対前年比-4.4%)、33.2%(対前年比-10.3%)でトップとなった。【小規模企業】においては、前年「好転」と「悪化」に21.0%もの差があったが、今回はほぼ同じ割合となっている。

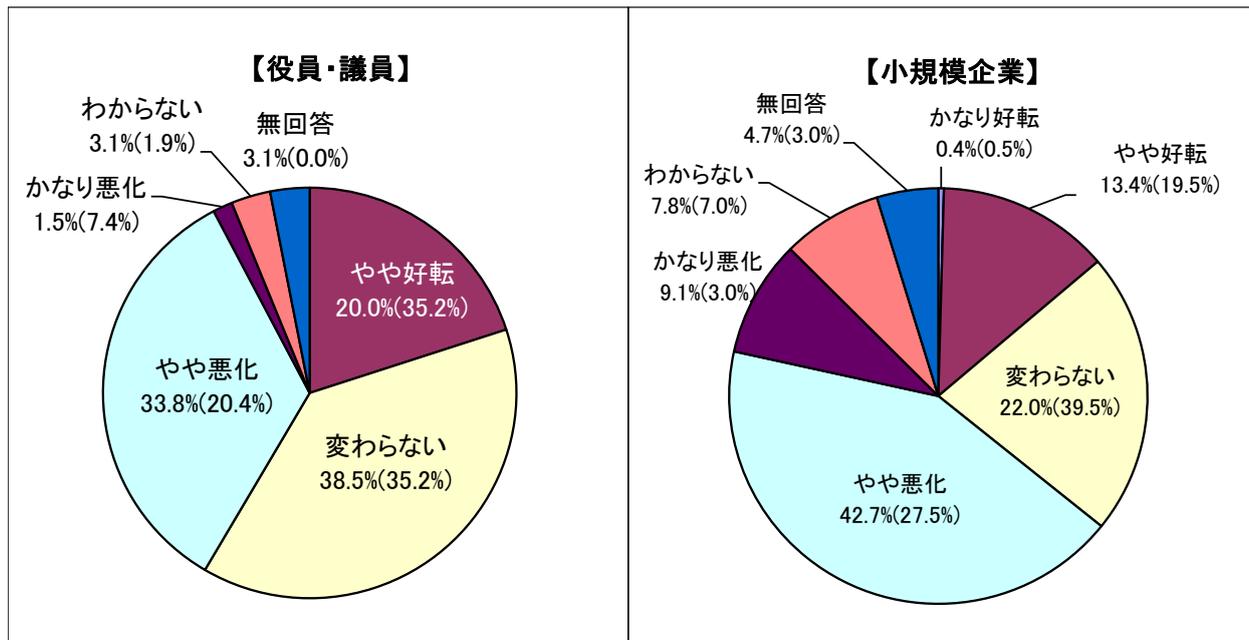
2015年 産業別動向

※ グラフの()内は、前年数値

卸売・小売業



来年の卸売・小売業の動向については、「やや悪化」が40.7%(対前年比+14.7%)でトップ、次いで「変わらない」25.6%(対前年比-13.0%)、「やや好転」14.8%(対前年比-8.0%)となった。前年に比べ「(かなり+やや)悪化」が18.2%増加しており、厳しい予測となっている。

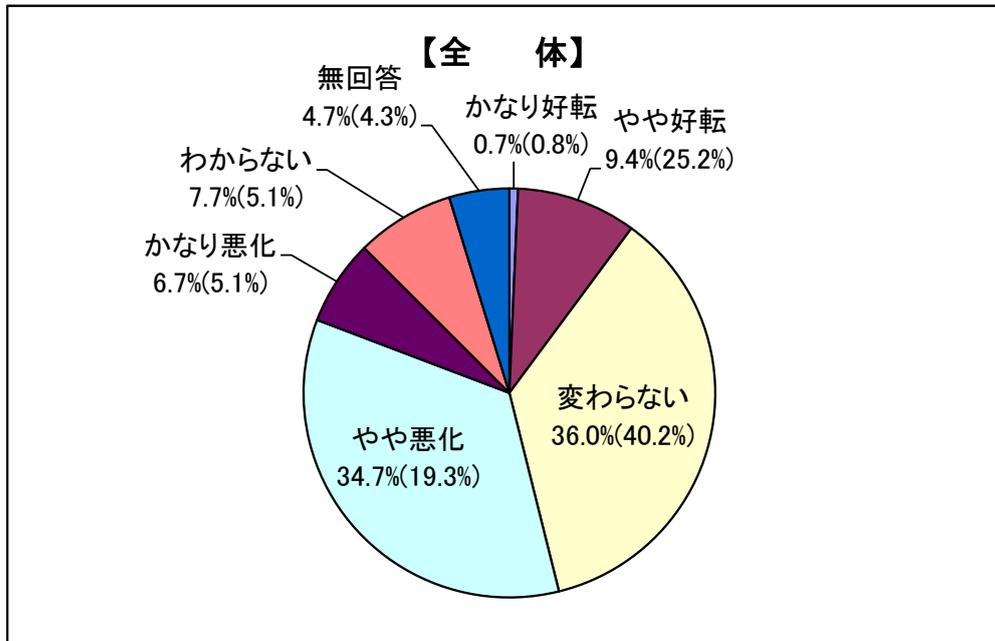


【役員・議員】は「変わらない」が38.5%、【小規模企業】は「やや悪化」が42.7%でトップとなった。「やや悪化」においては、【役員・議員】が対前年比+13.4%、【小規模企業】が対前年比+15.2%と大幅な増加となった。

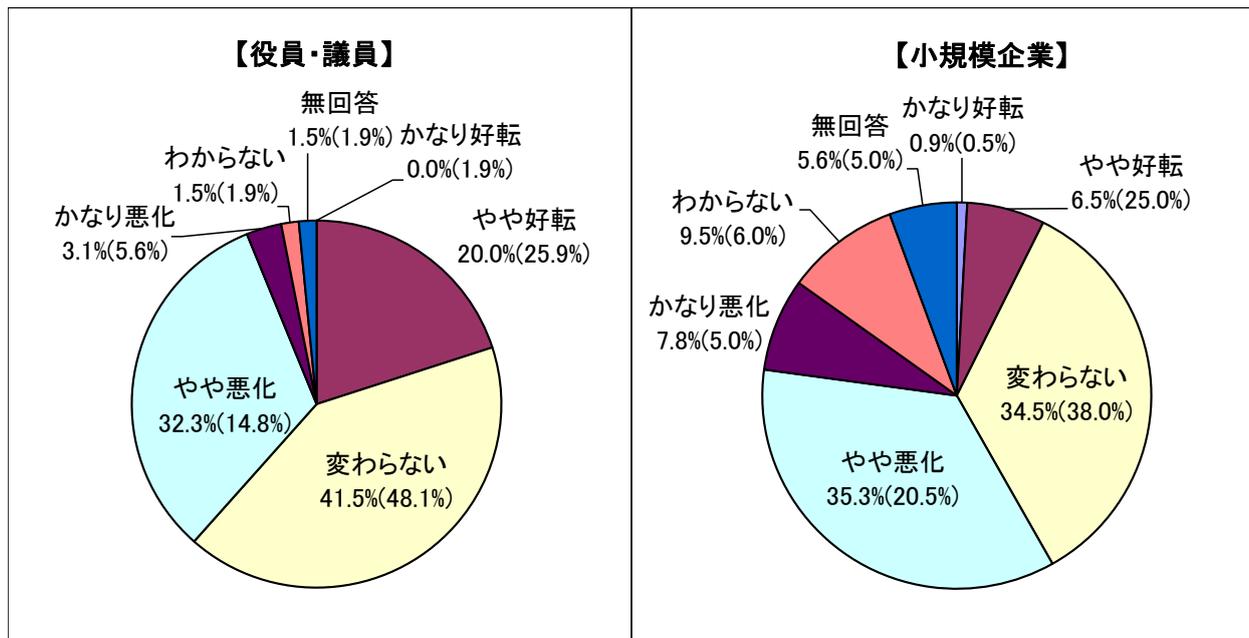
2015年 産業別動向

※ グラフの()内は、前年数値

飲食業



来年の飲食業の動向については、「変わらない」が36.0%(対前年比-4.2%)で前年に引き続きトップとなり、「やや悪化」が34.7%(対前年比+15.4%)、「やや好転」が9.4%(対前年比-15.8%)となった。「やや好転」が大幅減少、「やや悪化」が大幅増加となっており、悪化傾向の予測となった。

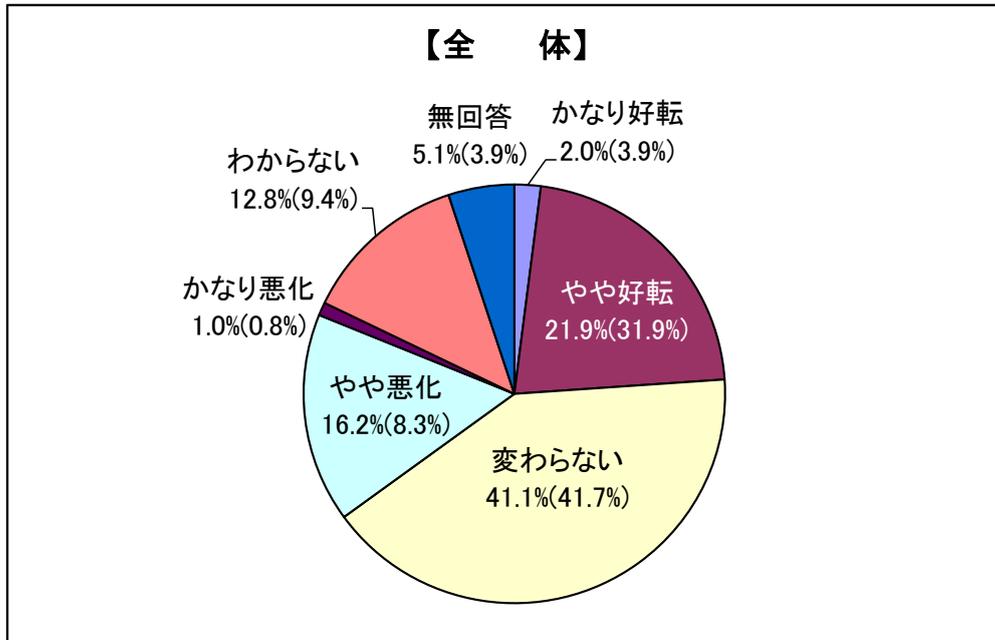


「やや好転」と回答した割合は【役員・議員】で20.0%(対前年比-5.9%)、【小規模企業】で6.5%(対前年比-18.5%)と、企業規模で大きな差が出る結果となった。

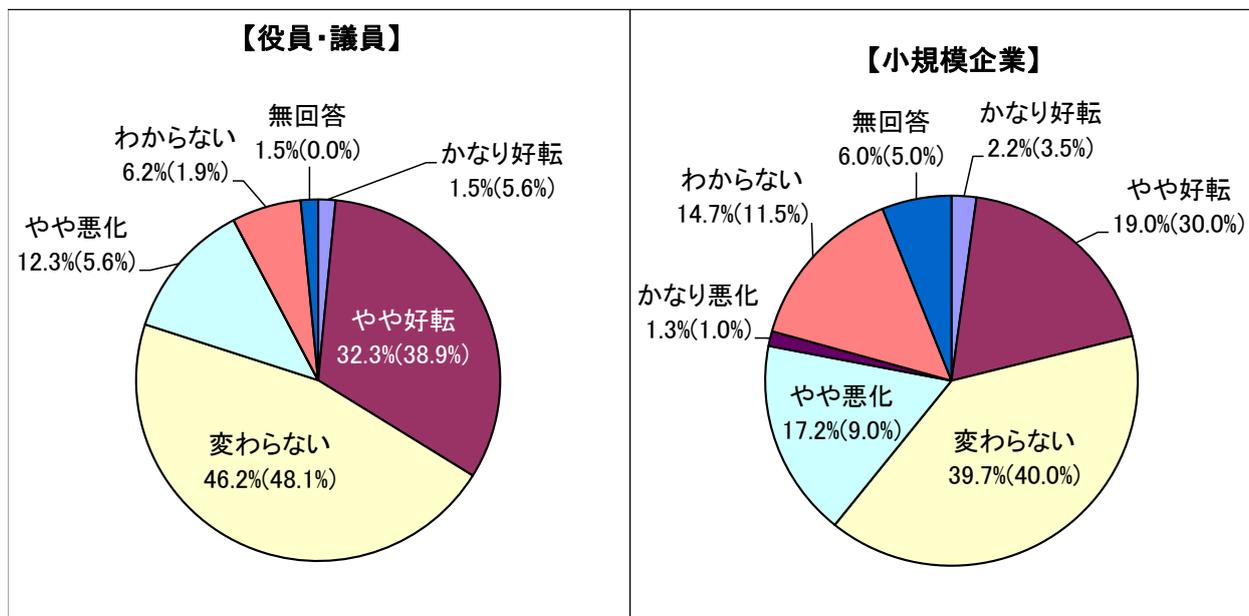
2015年 産業別動向

※ グラフの()内は、前年数値

金融・保険業



来年の金融・保険業の動向については、「変わらない」が41.1%(対前年比-0.6%)で前年に引き続きトップとなり、「やや好転」が21.9%(対前年比-10.0%)、「やや悪化」が16.2%(対前年比+7.9%)となった。

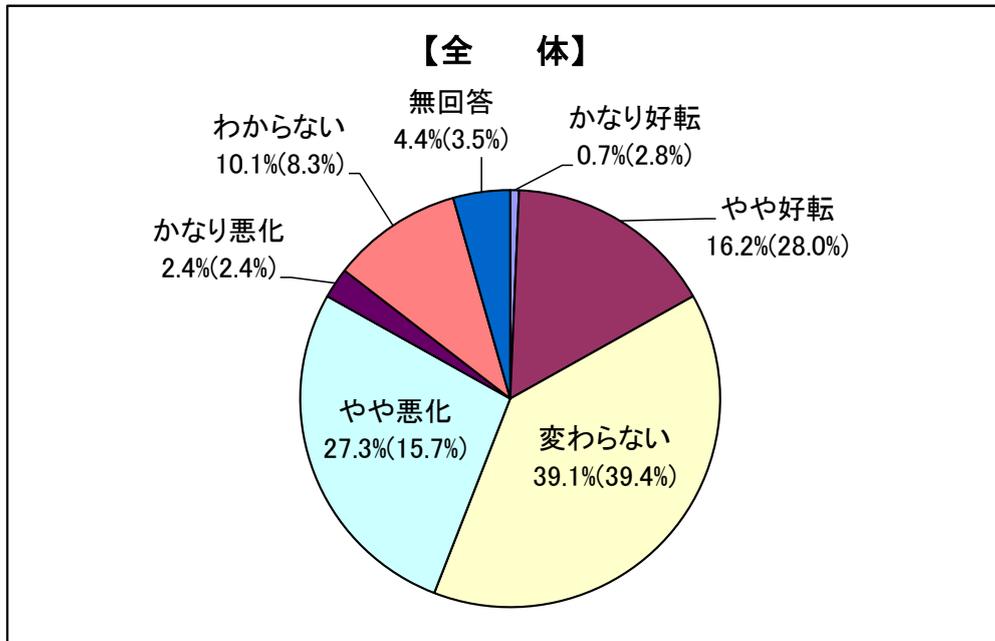


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「変わらない」がそれぞれ46.2%(対前年比-1.9%)、39.7%(対前年比-0.3%)とトップになった。また、どちらも「やや好転」の割合が大幅減少、「やや悪化」の割合が増加する結果となった。

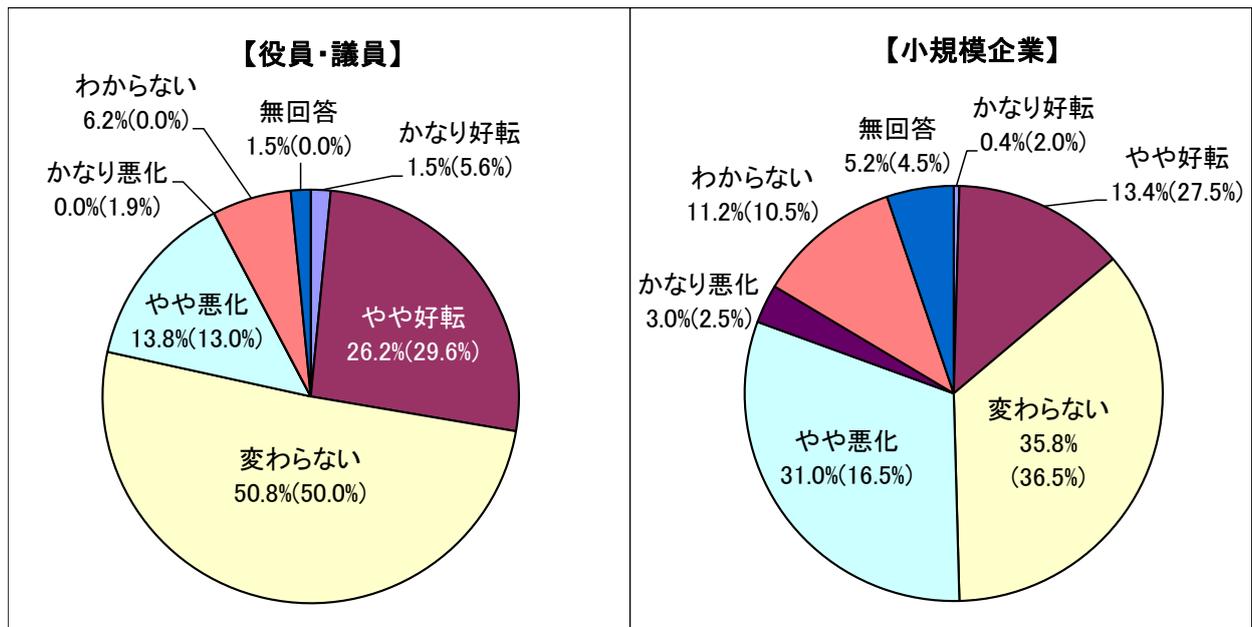
2015年 産業別動向

※ グラフの()内は、前年数値

サービス業



来年のサービス業の動向については、「変わらない」が39.1%(対前年比-0.3%)で前年に引き続きトップとなり、「やや悪化」が27.3%(対前年比+11.6%)、「やや好転」が16.2%(対前年比-11.8%)となった。

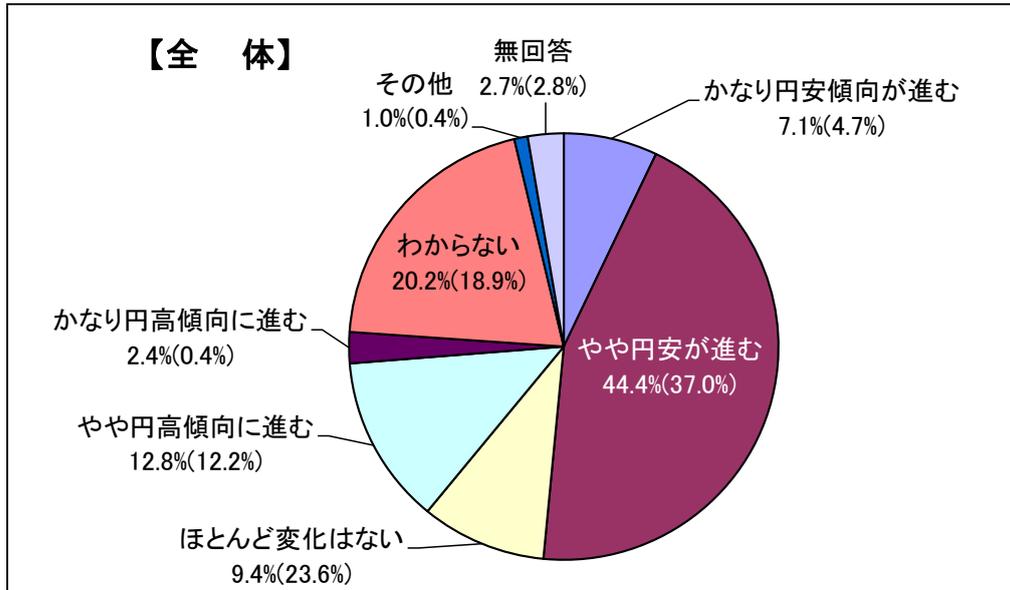


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「変わらない」がそれぞれ50.8%(対前年比+0.8%)、35.8%(対前年比-0.7%)でトップとなった。【小規模企業】においては「やや好転」が大幅減少、「やや悪化」が大幅増加という結果となった。

円市場予測

※ グラフの()内は、前年数値

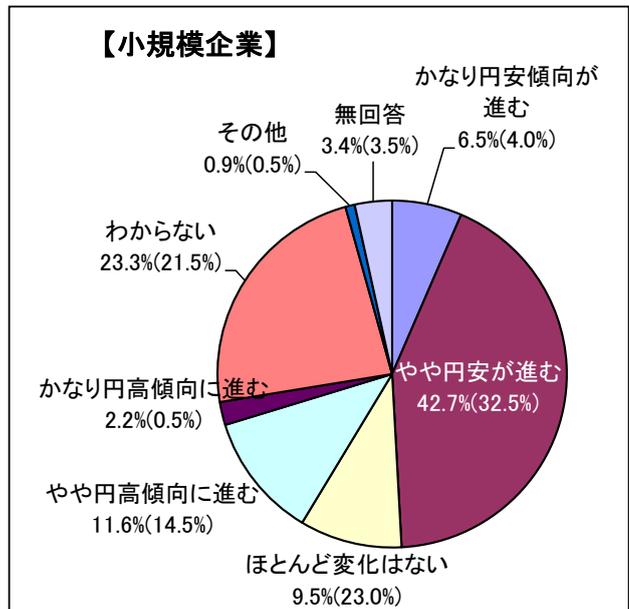
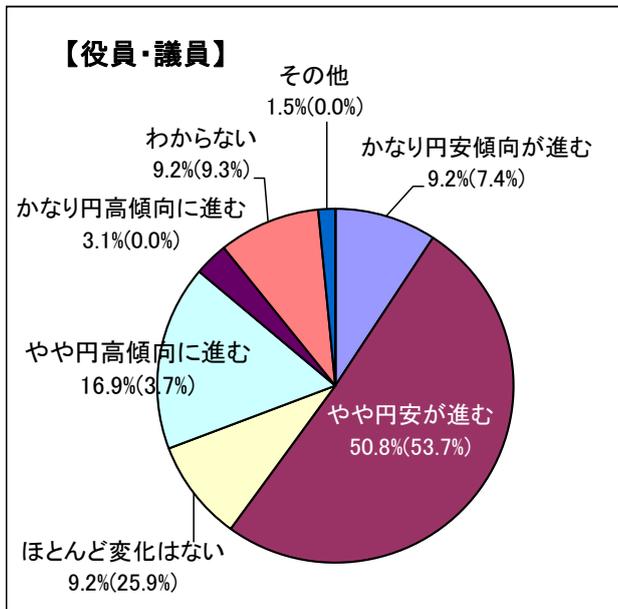
「やや円安」が44.4%、「やや円高」が12.8% (5割が「円安」と予測)



円市場の推移予測は、「やや円安」が44.4%(対前年比+7.4%)、「やや円高」が12.8%(対前年比+0.6%)となった。「かなり円安」と「やや円安」を合わせると51.5%(対前年比+9.8%)と半数を超えており、昨年に引き続き円安傾向が進む予測となった。

規模別の円市場予測

【役員・議員】、【小規模企業】ともに「やや円安」がトップ

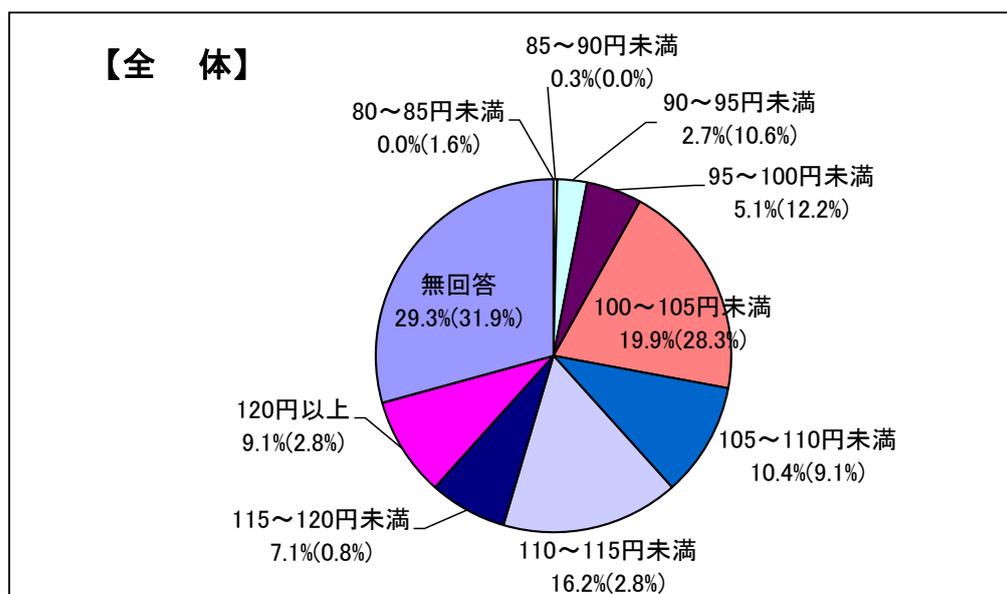


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「やや円安」がそれぞれ50.8%(対前年比-2.9%)、42.7%(対前年比+10.2%)でトップとなり、【役員・議員】では6割が「円安傾向が進む」と予測する結果となった。

望ましい為替水準

※ グラフの()内は、前年数値

「100～105円未満」が19.9%でトップ、次いで「110～115円未満」で16.2%

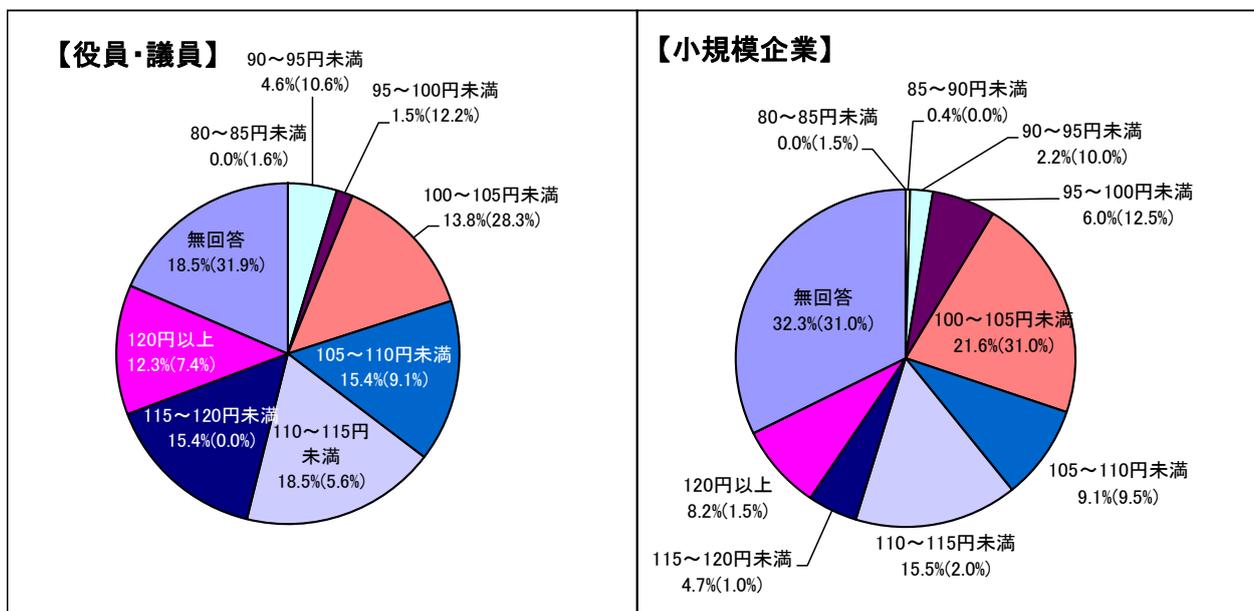


調査票記載の参考為替 東京外国為替 円(ドル=円) (11月10日)
 [始値] 114.47 [高値] 114.91 [安値] 113.84 [終値] 114.85

企業にとって望ましい為替水準は、「100～105円未満」が19.9%(対前年比-8.4%)でトップ、次いで「110～115円未満」が16.2%となった。昨年と比較し「110円以上」の割合が大幅に増加(+26.0%)している。

規模別の望ましい為替水準

【役員・議員】は「110～115円未満」、【小規模企業】は「100～105円未満」がトップ

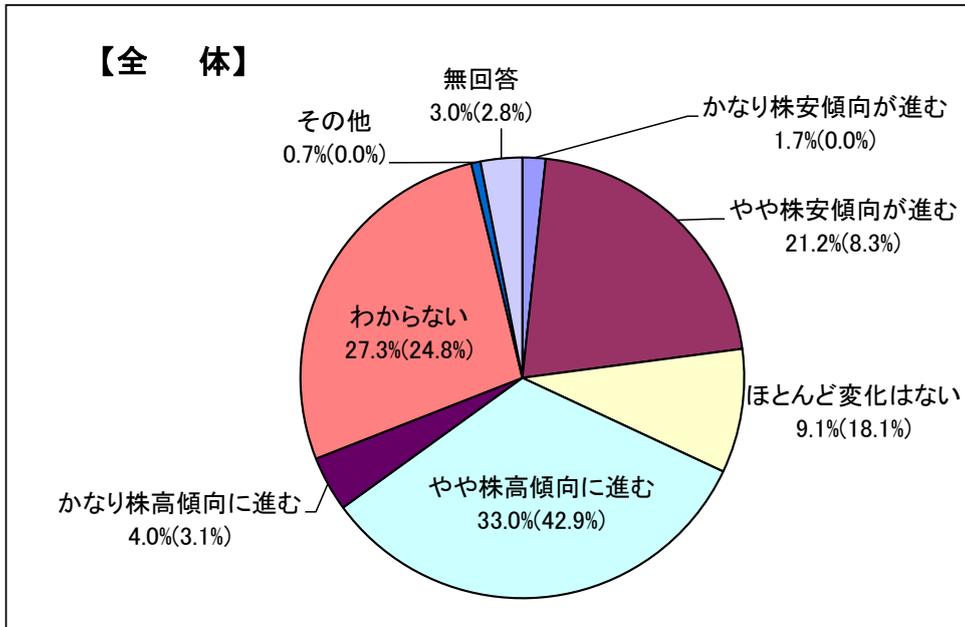


【役員・議員】においては「115円以上」の割合が27.7%であるのに対し、【小規模企業】は12.9%と、【役員・議員】の方が円安傾向を望む声が多い結果となった。

株式市場予測

※ グラフの()内は、前年数値

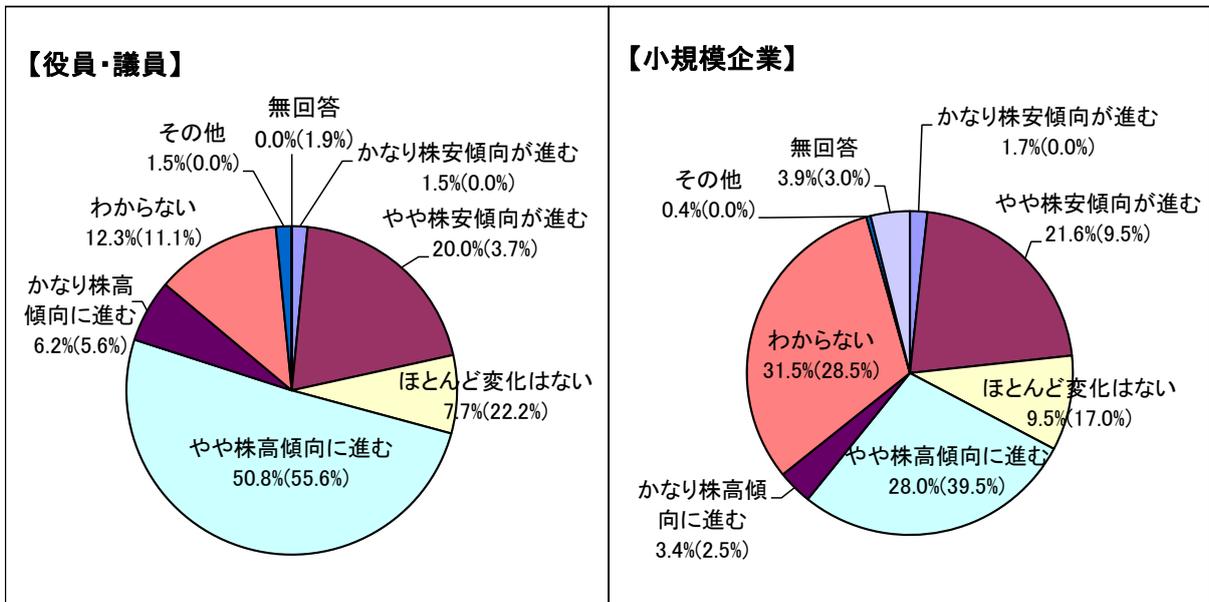
「やや株高傾向」33.0%、「やや株安傾向」21.2%



株式市場の予測は、昨年に引き続き「やや株高」が33.0%でトップとなったものの、その割合は対前年比-9.9%と減少している。その一方で「やや株安」は対前年比+12.9%と大幅に増加しており、株安傾向と株高傾向の二つに予測が分かれる結果となった。

規模別の株式市場予測

【役員・議員】、【小規模企業】ともに「やや株高傾向に進む」がトップ

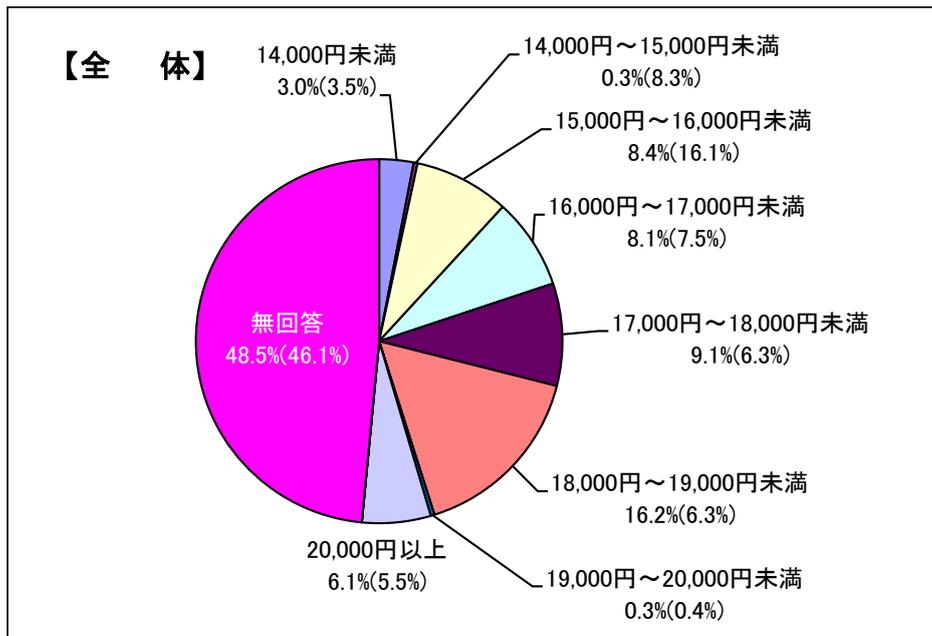


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「やや株高傾向」がトップで、それぞれ50.8%(対前年比-4.8%)、28.0%(対前年比-11.5%)となったものの、「やや株安傾向」の割合が増加しており、【役員・議員】では+16.3%と大幅な増加が見られた。

望ましい株価水準

※ グラフの()内は、前年数値

「18,000円～19,000円未満」が16.2%でトップ

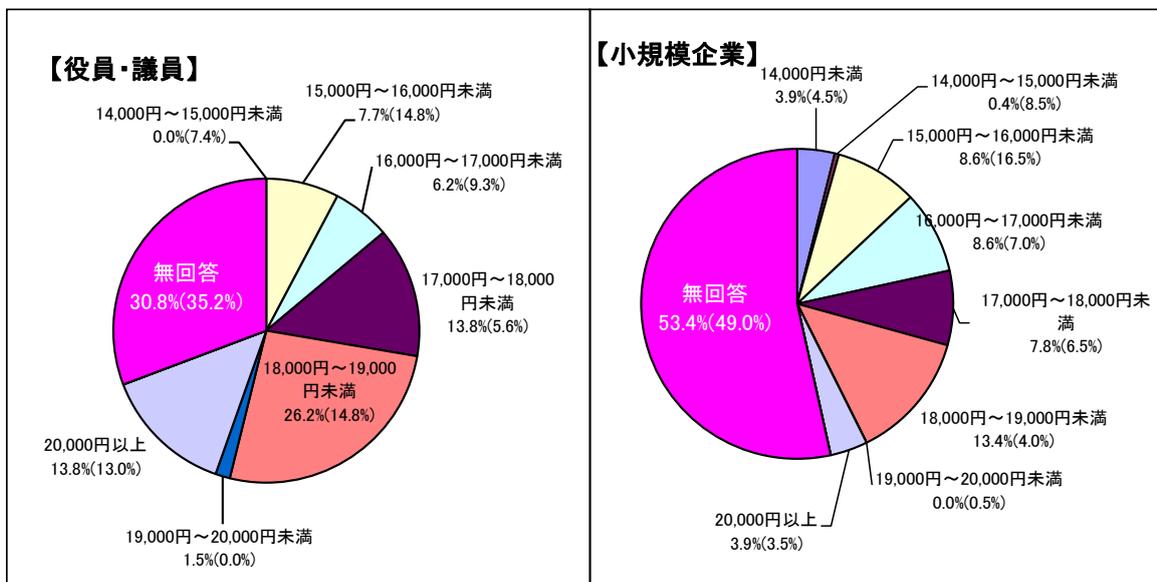


調査票記載の参考株価 国内株式 日経平均(円) (11月10日)
 [始値] 16,758.27 [高値] 16,818.05 [安値] 16,713.37 [終値] 16,780.53

望ましい株価水準は、「18,000円～19,000円未満」が16.2%でトップ、次いで「17,000円～18,000円未満」が9.1%となり、株高傾向を望む声が多い結果となった。

規模別の望ましい株価水準

【役員・議員】、【小規模企業】ともに「18,000円～19,000円未満」がトップ

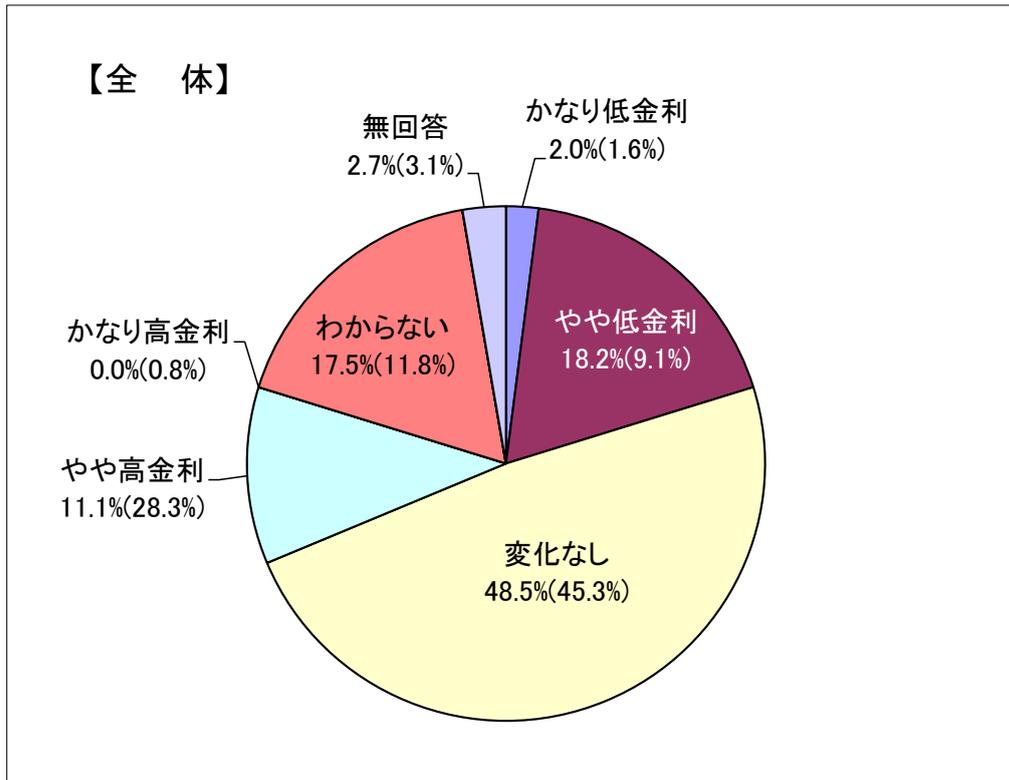


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「18,000円～19,000円未満」がそれぞれ26.2%(対前年比+11.4%)、13.4%(対前年比+9.4%)となった。「20,000円以上」を見ると【小規模企業】が3.9%であるのに対し、【役員・議員】は13.8%と、【役員・議員】の方がさらに株高を望む結果となった。

金利予測

※ グラフの()内は、前年数値

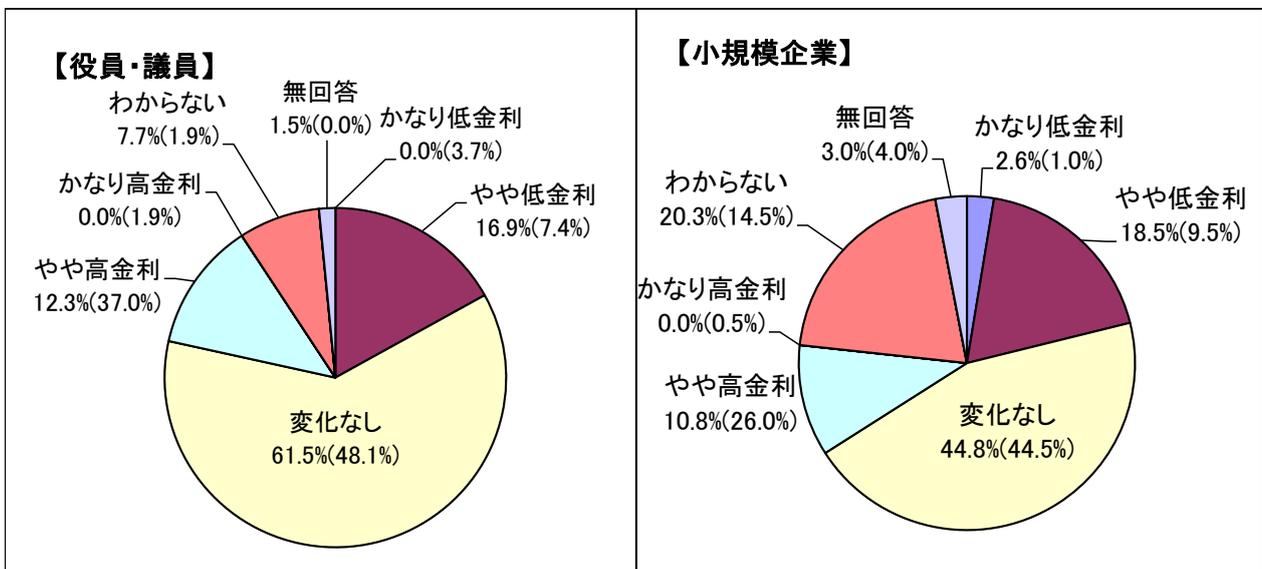
「変化なし」が48.5%でトップ、次いで「やや低金利」で18.2%



金利の推移予測では、「変化なし」が48.5%(対前年比+3.2%)でトップ、次いで「やや低金利」が18.2%(対前年比+9.1%)、「やや高金利」が11.1%(対前年比-17.2%)。「やや高金利」の割合が大幅減少し、「やや低金利」が増加する結果となった。

規模別の金利予測

【役員・議員】、【小規模企業】ともに「変化なし」がトップ

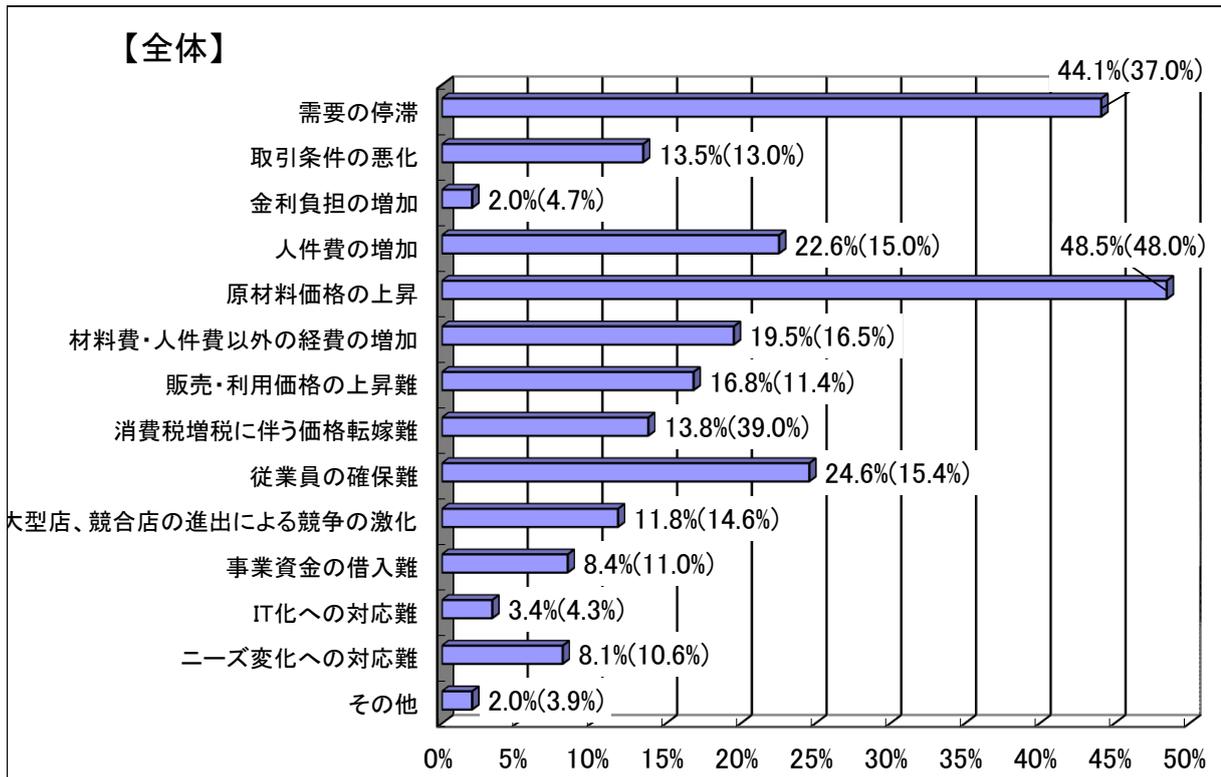


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「変化なし」がトップで、それぞれ61.5%(対前年比+13.4%)、44.8%(対前年比+0.3%)。次いで「やや低金利」が続き、どちらも「やや高金利」と「やや低金利」が逆転する結果となった。

経営上の問題点

(複数回答) ※ グラフの()内は、前年数値

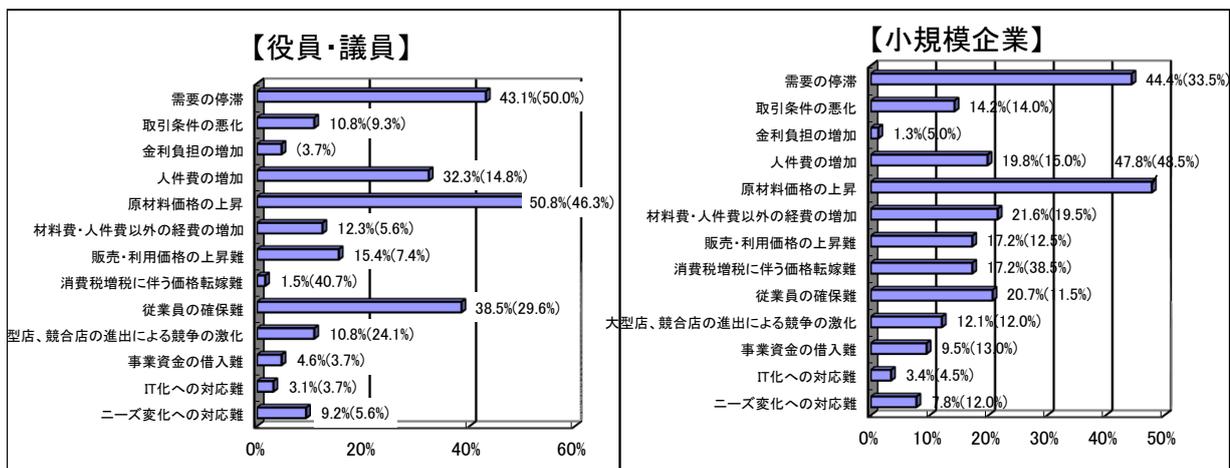
トップは「原材料価格の上昇」、次いで「需要の停滞」



経営上の問題点として最も多かったのは、昨年同様「原材料価格の上昇」で48.5%(対前年比+0.5%)、次いで「需要の停滞」で44.1%(対前年比+7.1%)であった。昨年割合が高かった「消費税増税に伴う価格転嫁難」は大幅に減少し、13.8%(対前年比-25.2%)に留まった。

規模別の経営上の問題点

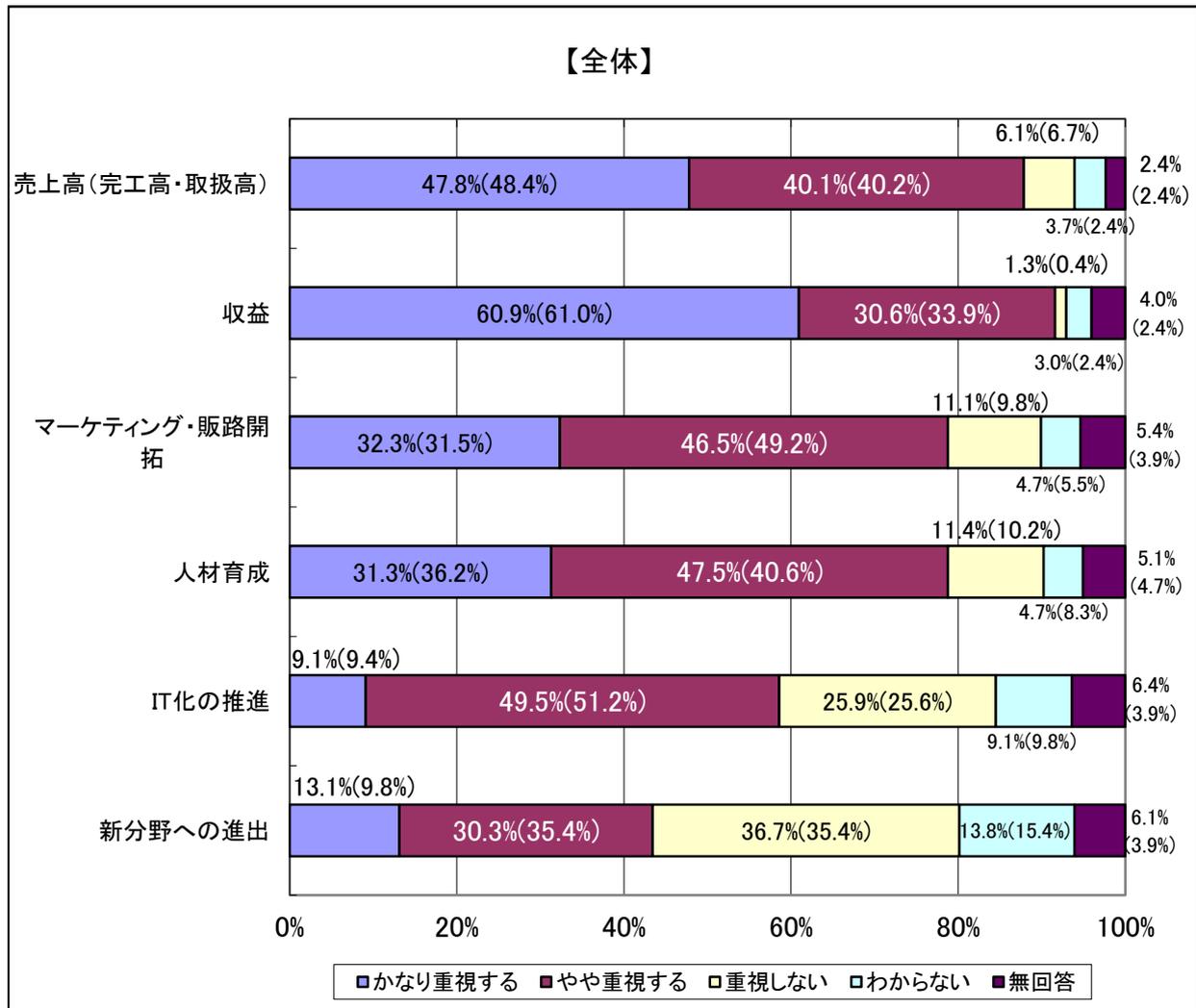
【役員・議員】、【小規模企業】ともに「原材料価格の上昇」がトップ



【役員・議員】、【小規模企業】ともに「原材料価格の上昇」がトップで、それぞれ50.8%(対前年比+4.5%)と47.8%(対前年比-0.7%)となった。【役員・議員】と【小規模企業】の差が最も大きかったのは「従業員の確保難」で、【役員・議員】が38.5%、【小規模企業】が20.7%と、17.8%の差があった。

経営上の重視点

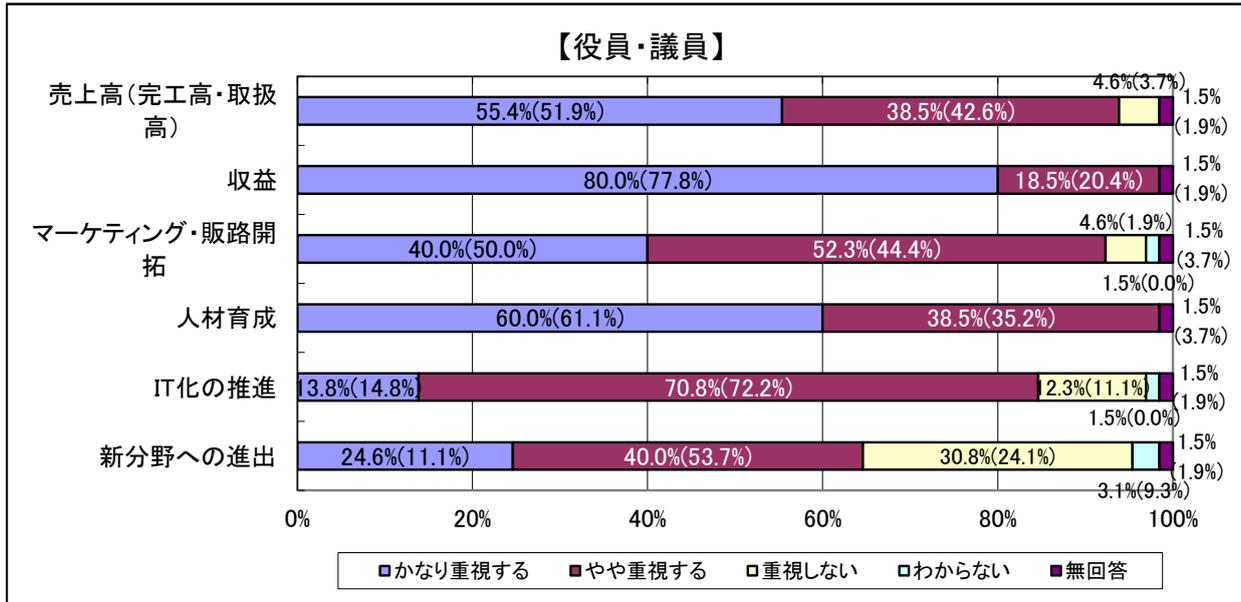
※ グラフの()内は、前年数値



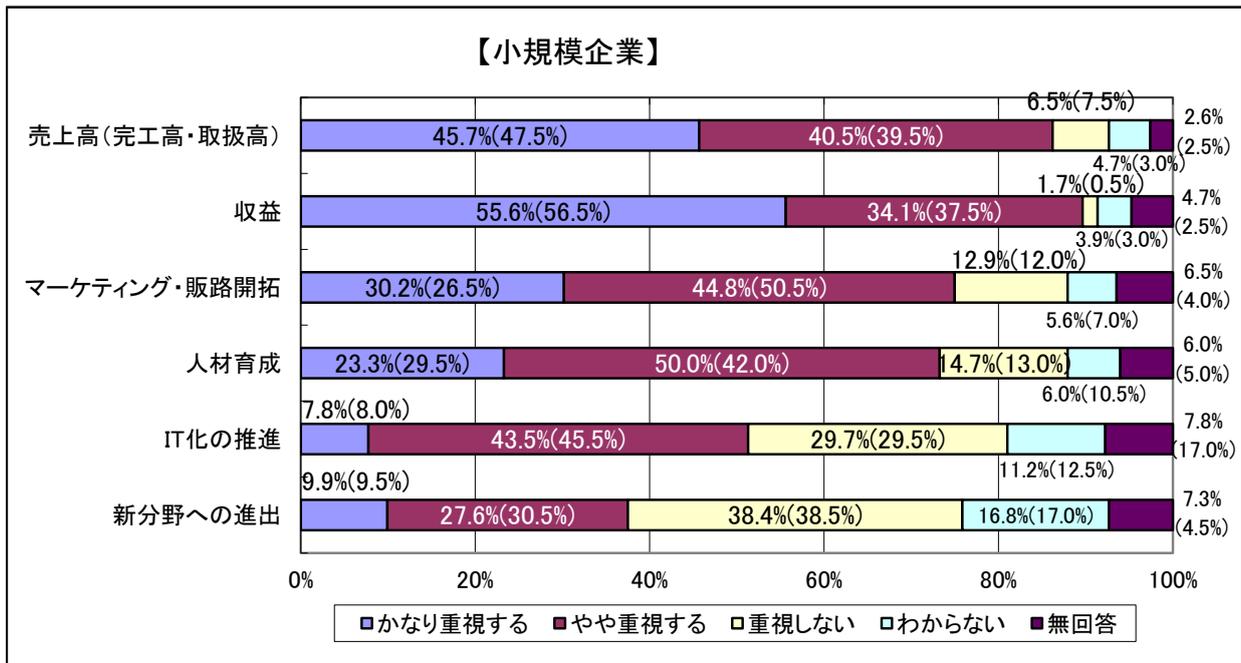
「(かなり+やや)重視する」割合が高いのは「収益」で91.5%、次いで「売上高」が87.9%、「マーケティング」と「人材育成」が同率で78.8%となった。

規模別の経営上の重視点

※ グラフの()内は、前年数値



「(かなり+やや)重視する」が最も高いのは「収益」、「人材育成」が同率で98.5%、次いで「売上高」が93.9%、「マーケティング・販路開拓」が92.3%と、4項目で9割を超えた。

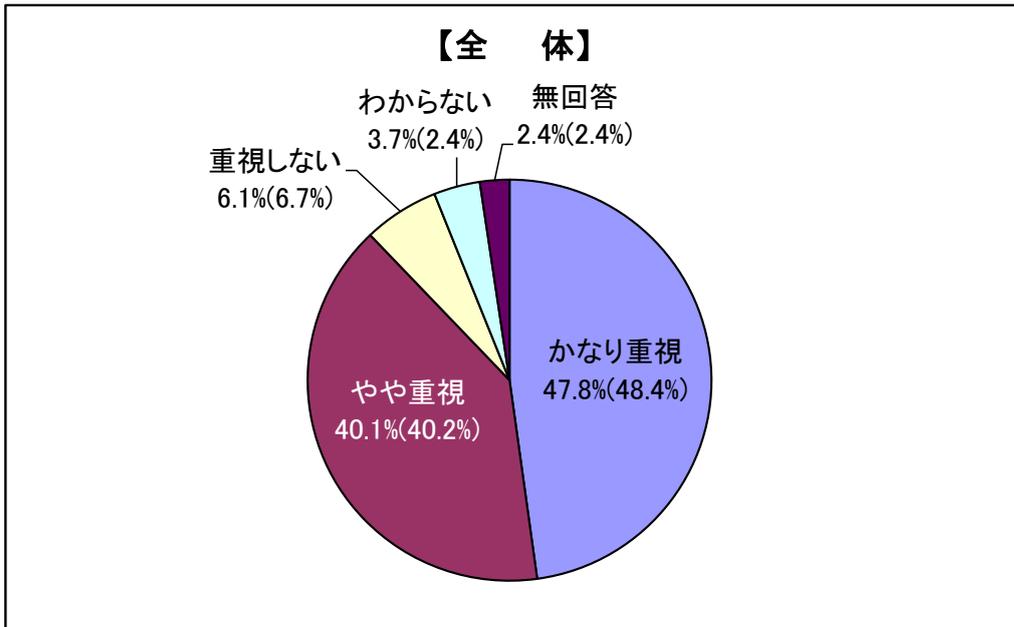


「(かなり+やや)重視する」割合が最も高いのは【役員・議員】同様「収益」で89.7%。【役員・議員】で98.5%が「重視する」と回答した「人材育成」は73.3%に留まった。

経営上の重視点

※ グラフの()内は、前年数値

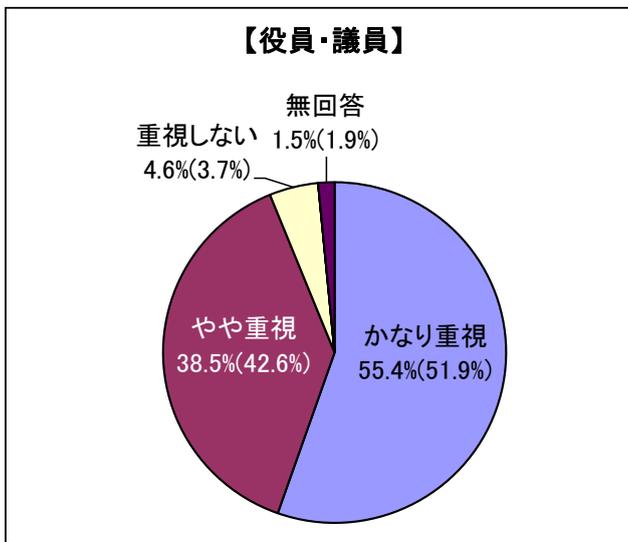
<売上高> トップは「かなり重視」 47.8%



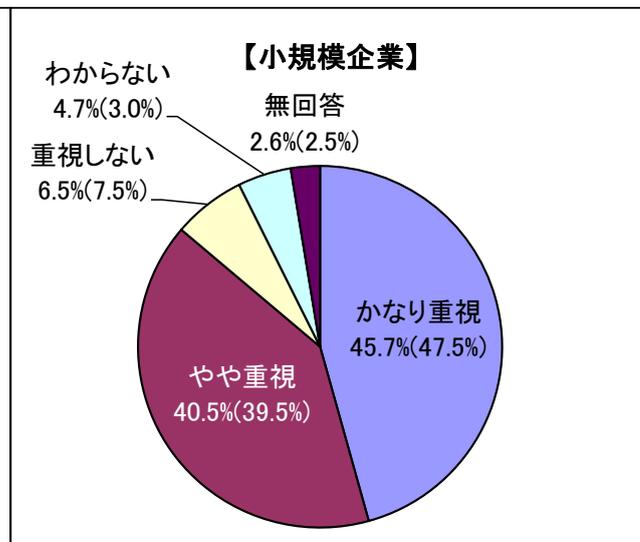
売上高については「かなり重視する」が47.8%(対前年比-0.6%)でトップ、次いで「やや重視する」が40.1%(対前年比-0.1%)で、昨年とほぼ同様の結果となった。

規模別の経営上の重視点

<売上高> トップは「かなり重視」 55.4%



<売上高> トップは「かなり重視」 45.7%

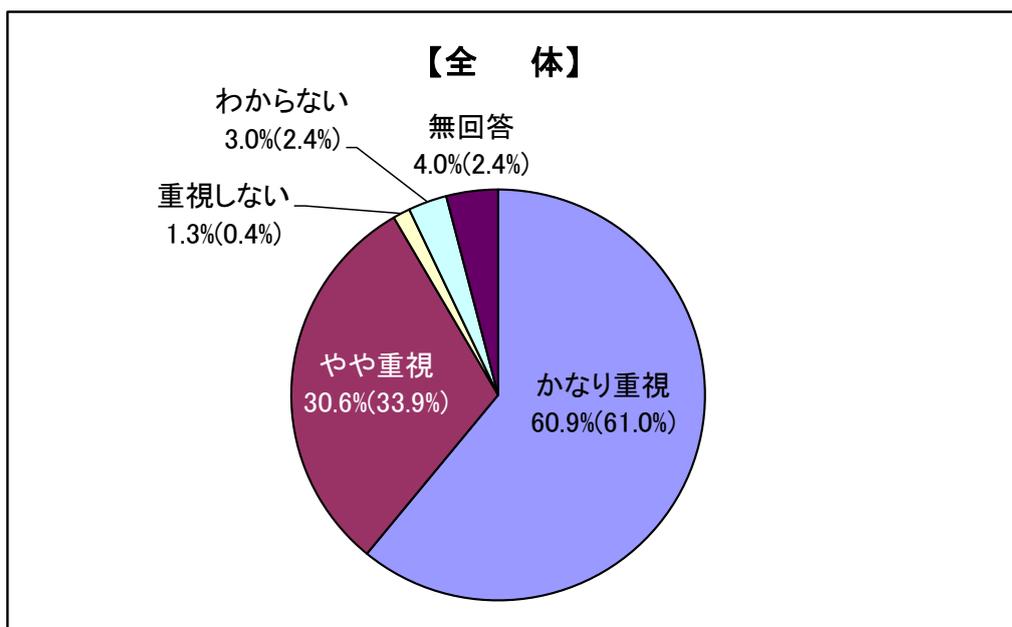


【役員・議員】は「重視する」が93.9%(対前年比-0.6%)、【小規模企業】は86.2%(対前年比-0.8%)となった。

経営上の重視点

※ グラフの()内は、前年数値

<収益> トップは「かなり重視」 60.9%

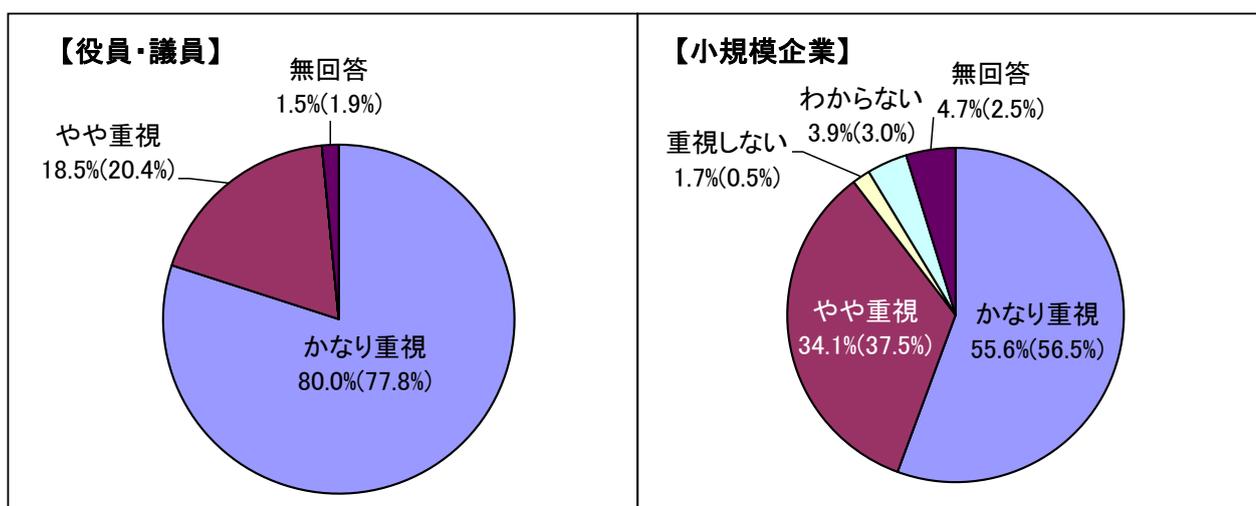


「かなり重視する」が60.9%(対前年比-0.1%)、「やや重視する」が30.6%(対前年比-3.3%)で「重視する」91.5%となり、対前年比-3.4%となった。

規模別の経営上の重視点

<収益> トップは「かなり重視」 80.0%

<収益> トップは「かなり重視」 55.6%

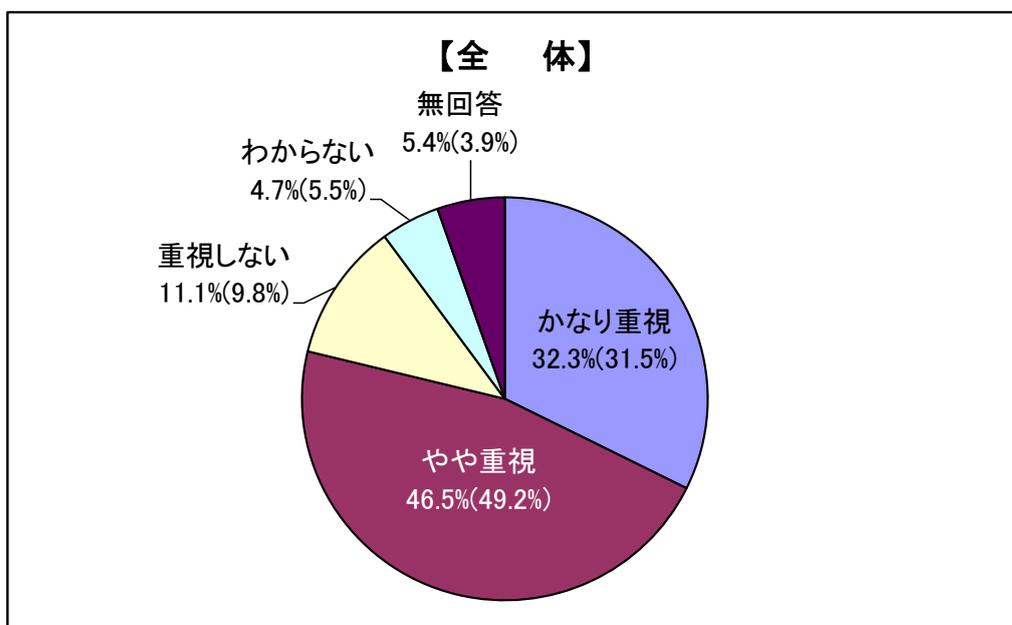


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「重視する」がそれぞれ98.5%(対前年比+0.3%)、89.7%(対前年比-4.3%)と高い割合を占めている。特に【役員・議員】では「かなり重視する」が80.0%と、【小規模企業】に比べ20%以上高くなっている。

経営上の重視点

※ グラフの()内は、前年数値

<マーケティング・販路開拓> トップは「やや重視」 46.5%

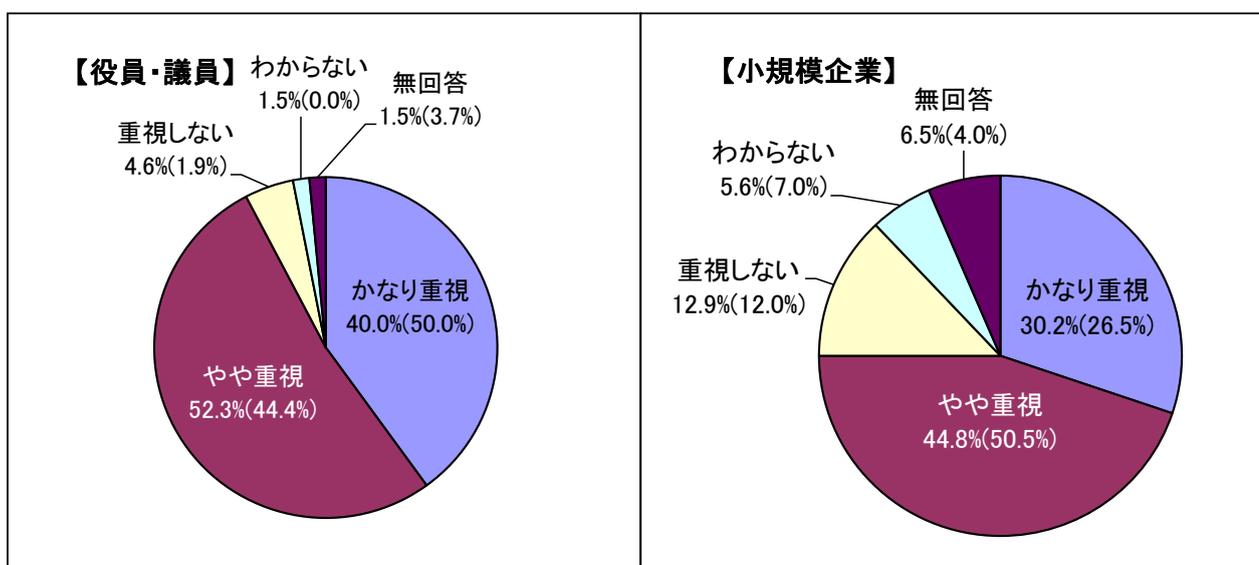


「やや重視」が46.5%(対前年比-2.7%)でトップ、次いで「かなり重視」が32.3%(対前年比+0.8%)、「重視しない」が11.1%(対前年比+1.3%)と、昨年とほぼ同様の結果となった。

規模別の経営上の重視点

<マーケティング・販路開拓> トップは「やや重視」 52.3%

<マーケティング・販路開拓> トップは「やや重視」 44.8%

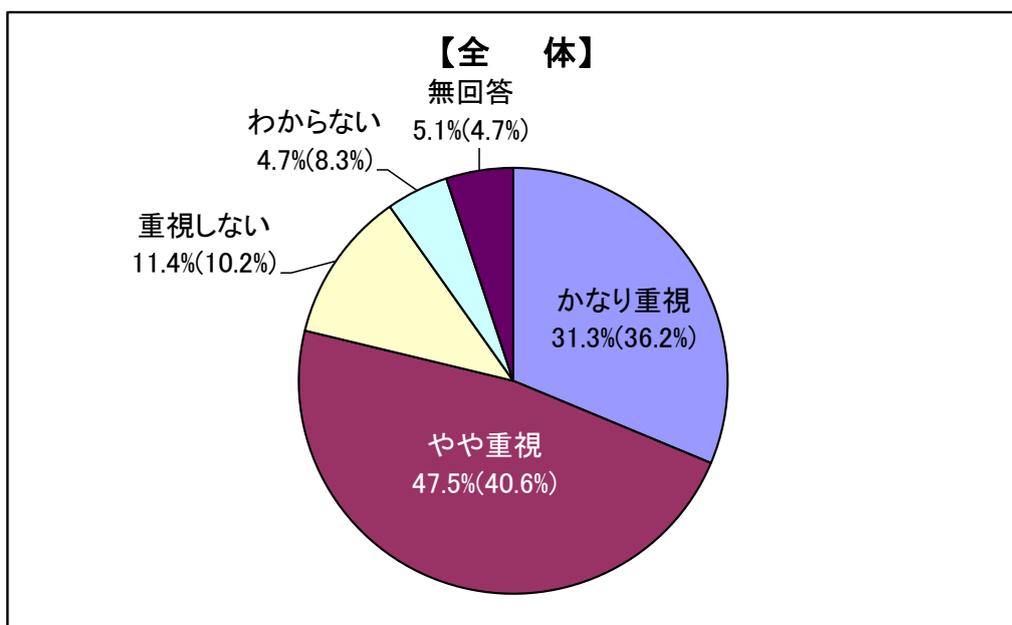


【役員・議員】は昨年とトップが入れ替わり、「やや重視」が52.3%(対前年比+7.9%)、「かなり重視」が40.0%(対前年比-10.0%)となった。【小規模企業】では昨年と比較し「かなり重視」が増加し(+3.7%)、「やや重視」が減少(-5.7%)した。

経営上の重視点

※ グラフの()内は、前年数値

<人材育成> トップは「やや重視」 47.5%

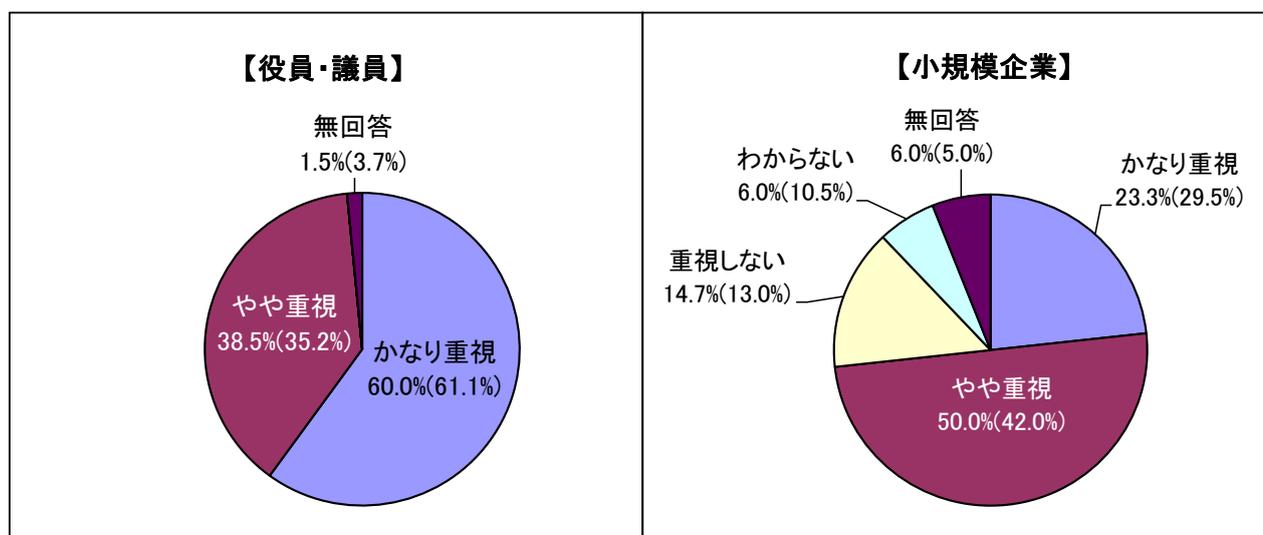


「やや重視する」が47.5%(対前年比+6.9%)でトップ。次いで、「かなり重視する」が31.3%(対前年比-4.9)、「重視しない」が11.4%(対前年比+1.2%)。

規模別の経営上の重視点

<人材育成> トップは「かなり重視」 61.1%

<人材育成> トップは「やや重視」 50.0%

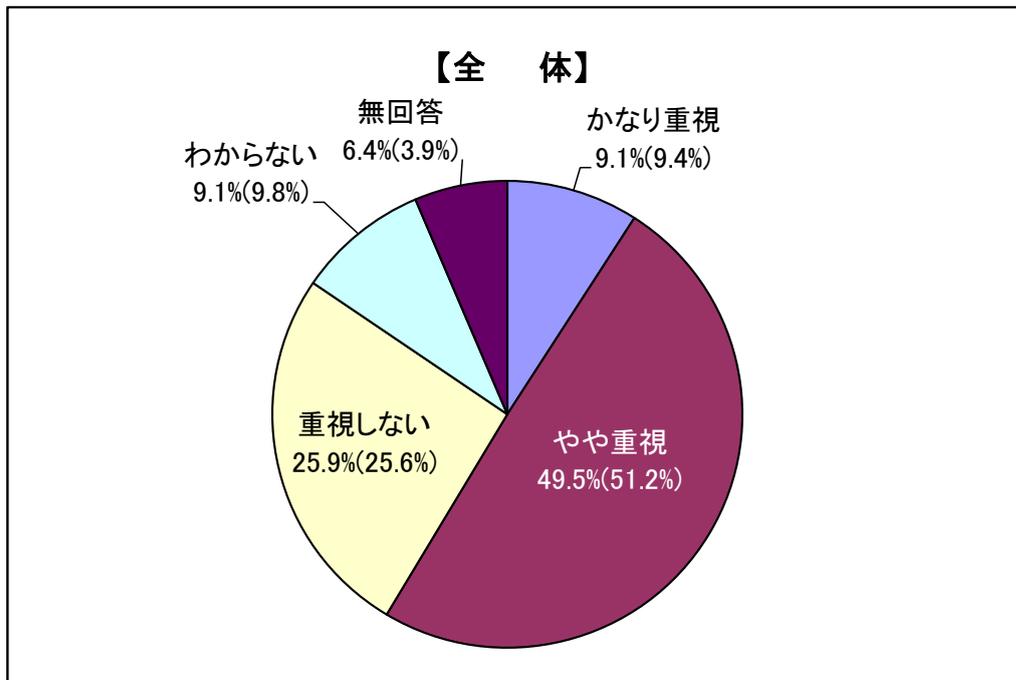


「重視する」割合は【役員・議員】で98.5%(対前年比+2.2%)、【小規模企業】で73.3%(対前年比+1.8%)と、若干増加する結果となった。

経営上の重視点

※ グラフの()内は、前年数値

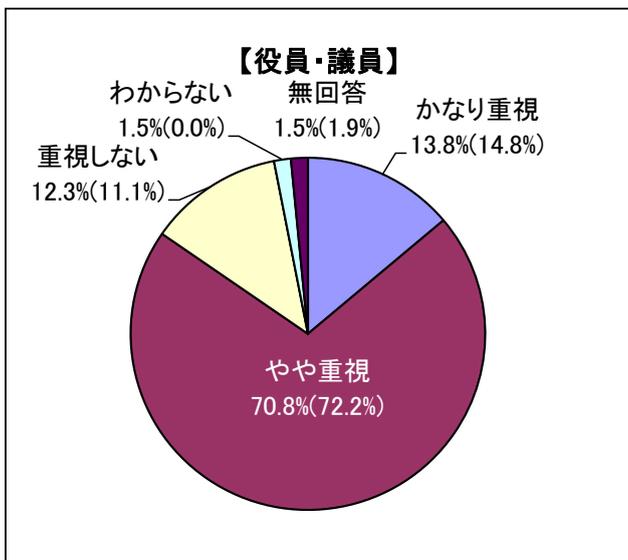
<IT化の推進> トップは「やや重視」 49.5%



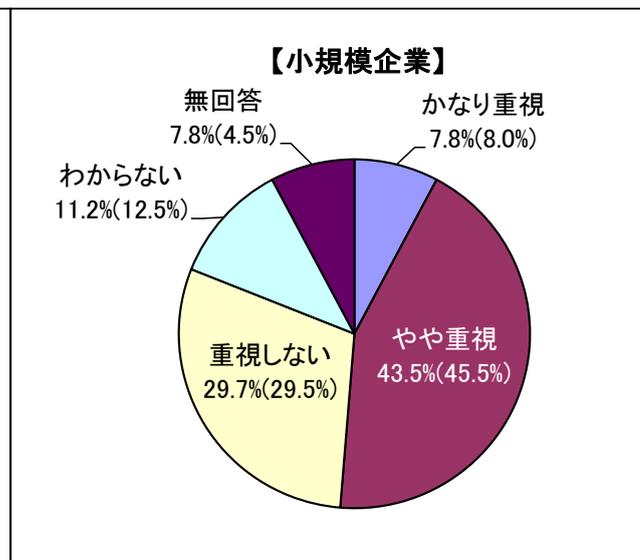
トップは「やや重視する」で49.5%(対前年比-1.7%)、次いで「重視しない」が25.9%(対前年比+0.3%)と、ほぼ昨年同様の結果となった。

規模別の経営上の重視点

<IT化の推進> トップは「やや重視」 70.8%



<IT化の推進> トップは「やや重視」 43.5%

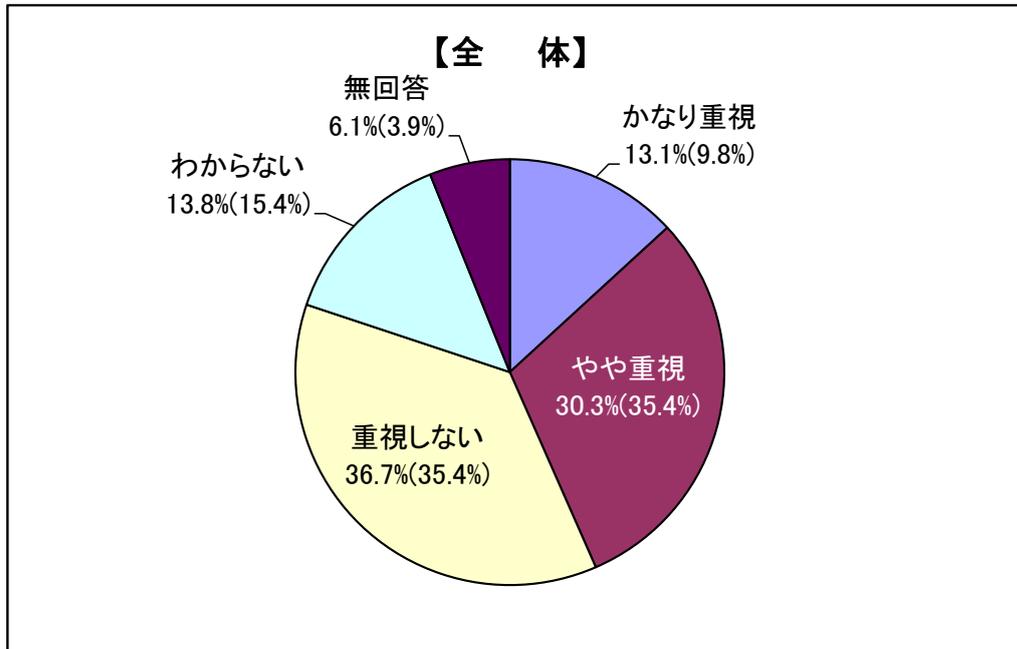


「(かなり+やや)重視する」の割合は【役員・議員】が84.6%(対前年比-2.4%)であるのに対し、【小規模企業】は51.3%(対前年比-2.2%)で、その差は33.3%と、依然として大きな開きがある。

経営上の重視点

※ グラフの()内は、前年数値

<新分野への進出> トップは「重視しない」36.7%

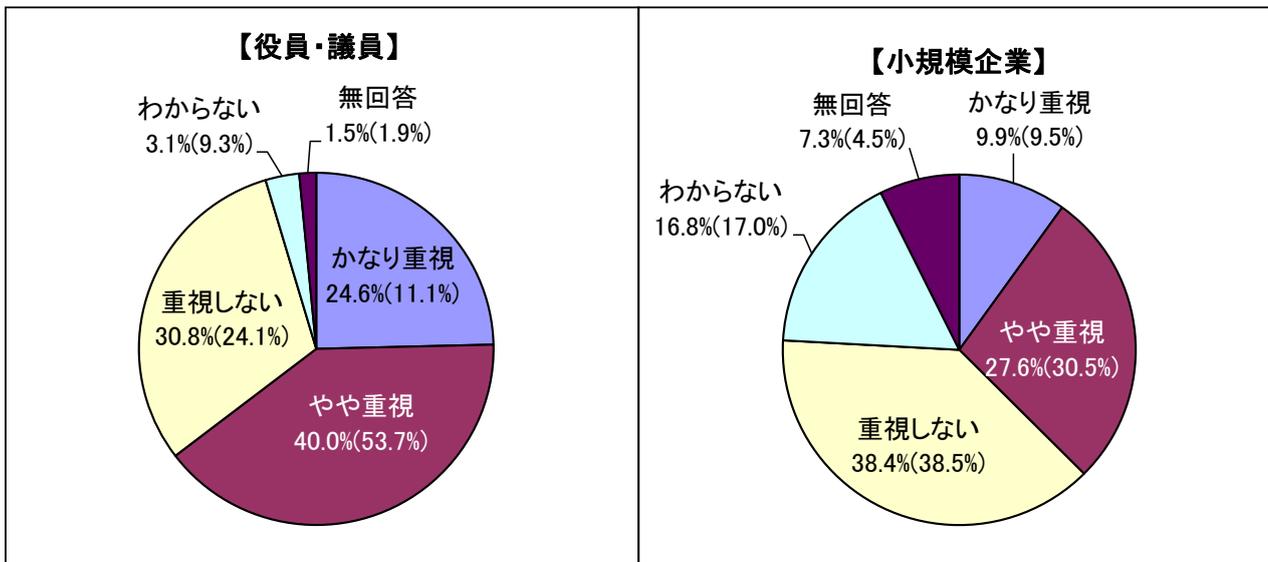


昨年は「やや重視」と「重視しない」が同率トップ(35.4%)であったが、今回は「重視しない」が36.7%(対前年比+1.3%)でトップ、次いで「やや重視」が30.3%(対前年比-5.1%)という結果となった。

規模別の経営上の重視点

<新分野への進出> トップは「やや重視」46.9%

<新分野への進出> トップは「重視しない」39.6%



「(かなり+やや)重視する」の割合は【役員・議員】が64.6%(対前年比-0.2%)であるのに対し、【小規模企業】は37.5%(対前年比-2.2%)で、その差は27.1%と、依然として大きな差がある結果となった。

2015年経済予測アンケート

景気

Q1 景気の現状について昨年（2013年）11月と比較して、どのように感じてもらえますか。該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

- | | |
|-------------|-----------|
| (1) かなり好転 | (2) やや好転 |
| (3) 変わらない | (4) やや悪化 |
| (5) かなり悪化 | (6) わからない |
| (7) その他 () | |

Q2 県内の景気動向についてお尋ねします。本格的な景気回復の時期は、いつ頃からと思われますか。該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| (1) 既に回復している | (2) 2015年上期から回復 |
| (3) 2015年下期から回復 | (4) 2016年から回復 |
| (5) 2017年以降に回復 | (6) わからない |
| (7) その他 () | |

産業全体

Q3 現在（2014年11月）の業況水準を基準に、2015年の県内の各産業別の見通しについて、どのように予測されますか。□欄に○印をお付け下さい。（自社以外の業種についてもご回答をお願い致します。）

	かなり好転する	やや好転する	変わらない	やや悪化する	かなり悪化する	わからない
1. 全業種						
2. 製造業						
3. 建設業						
4. 運輸・通信業						
5. 卸売・小売業						
6. 飲食業						
7. 金融・保険業						
8. サービス業						

（※1～8の全ての業種に該当箇所のチェックをお願い致します。）

円市場

Q 4 - 1 現在（2014年11月上旬）の為替水準を基準に、2015年の円市場の見通しについて、どのように予測されますか。
該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

※参考 東京外国為替 円(1ドル=円) (11月10日)

[始値] 114.47 [高値] 114.91 [安値] 113.84 [終値] 114.85

- (1) かなり円安傾向が進む (2) やや円安傾向が進む
(3) ほとんど変化はない (4) やや円高傾向に進む
(5) かなり円高傾向に進む (6) わからない
(7) その他 ()

Q 4 - 2 貴社にとって望ましい為替水準はいくらですか？
ご記入をお願いします。

(1ドル= 円)

株式市場

Q 5 - 1 2015年の株式市場の見通しについて、現在（2014年11月上旬）の株式市場の水準を基準に、どのように予測されますか。
該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

※参考 国内株式 日経平均(円) (11月10日)

[始値] 16,758.27 [高値] 16,818.05 [安値] 16,713.37 [終値] 16,780.53

- (1) かなり株安傾向が進む (2) やや株安傾向が進む
(3) ほとんど変化はない (4) やや株高傾向に進む
(5) かなり株高傾向に進む (6) わからない
(7) その他 ()

Q 5 - 2 貴社にとって望ましい株価水準はいくらですか？
ご記入をお願いします。

(円)

金利

Q 6 2015年における金利の見通しについて、今年（2014年11月上旬）の金利水準を基準に、どのように予測されますか。
該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

- (1) かなり低金利傾向が進む (2) やや低金利傾向が進む
(3) ほとんど変化はない (4) やや高金利傾向に進む
(5) かなり高金利傾向に進む (6) わからない
(7) その他 ()

経営の問題点

- Q 7 2015年における貴社の経営上の問題点を、どのように予測されますか。
該当する番号を○でお囲み下さい。(3項目以内)
- (1) 需要の停滞 (2) 取引条件の悪化
 (3) 金利負担の増加 (4) 人件費の増加
 (5) 原材料価格の上昇 (6) 材料費・人件費以外の経費の増加
 (7) 販売・利用価格の上昇難 (8) 消費税増税に伴う価格転嫁難
 (9) 従業員の確保難 (10) 大型店,競合店の進出による競争の激化
 (11) 事業資金の借入難 (12) IT化への対応難
 (13) ニーズ変化への対応難
 (14) その他 ()

経営の重視点

- Q 8 2015年に貴社の経営上、重視される点についてどのように予測されますか。なお、本問では回答集約の都合上、選択肢を下記の6項目に限定させて頂いております。該当の□欄に○印をお付け下さい。

	かなり重視する	やや重視する	重視しない	わからない
1. 売上高 (完工高、取扱高)				
2. 収益				
3. マーケティング 販路開拓				
4. 人材育成				
5. IT化の推進				
6. 新分野への進出				

コメント

熊本経済の発展に向けて、必要なこと、期待すること、また望まれる経済対策などについて、ご意見、ご提言等ございましたら、ご自由にご記入願います。

ご協力ありがとうございました。

熊本商工会議所 会員サービス部 情報調査課

TEL 096-354-6688 FAX 0120-268-343 / 354-8890